

今日ちょっと
感じたこと -
マレーシアか
ら -

2007- by Selangor

2007.01.14 - 2008.02.25
<http://selangor.exblog.jp/>

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-

2007- by Selangor
2007.01.14 - 2008.02.25
<http://selangor.exblog.jp/>

「今日ちょっと感じたこと」を

マレーシアに来て足かけ7年。

始めは見るもの聞くものすべてが新しく、体験したことを忘れないうちに記録しておこうと、ホームページ「マレーシア雑感」を作っていました。現在も「マレーシア b y m y デジカメ」<http://www.favorite.sakura.ne.jp/> としてありますので、いろんな写真を見ていただくことができます。マレーシアで見たこと、感動したことそして驚きなどを、デジカメ写真とともに載せています。

今回は、2004年2月から利用させてもらっているエキサイトブログ「今日ちょっと感じたこと（マレーシアから）」の2007年1月から2008年2月までをまとめました。第4冊目になります。

50歳代後半主婦の、マレーシアのわくわく体験日記です。

2008年3月吉日
Selangor

目次

2007・01・14 (日)	きゃ〜こんなに大きくなってる	1
	クッキングクラス?	3
2007・01・18 (木)	ようやく貰えた	4
2007・01・21 (日)	新築マンションは?	6
	一戸建て住宅	9
	ようやくお目見えか	10
2007・01・23 (火)	Sinking Of Japan (日本沈没)	11
2007・01・25 (木)	グーグル	14
	Air Asia(エア・エイシア)	15
2007・01・29 (月)	何だと思いませんか?	17
	日本人会の新年会で	18
2007・01・31 (水)	ああ、チャイニーズニューイヤーがやってくる	20
2007・02・02 (金)	天気がいい日に	22
	仏教聖典朗読	23
2007・02・03 (土)	ちょっと見つけた	26
2007・02・05 (月)	バスはいろいろ	27
2007・02・11 (日)	お祝い用	29
2007・02・12 (月)	写真とってきたよ	31
2007・02・16 (金)	鮭	33
	コタキナバル	34
2007・02・22 (木)	エアアジア初飛行体験	36
	コタキナバル1日目	39
2007・02・24 (土)	キナバル公園へ	43
	ポーリン温泉	47
	キャノピーウォーク	49

	ラフレンシア	51
2007・02・27 (火)	贅沢に夕食を演出?	53
2007・02・28 (水)	コタキナバル続き	55
2007・03・01 (木)	夕日を追いかけて	60
2007・03・03 (土)	シーフード料理店	62
2007・03・04 (日)	バタフライパークで	63
2007・03・06 (火)	民族衣装	66
2007・03・08 (木)	Babel (バベル)	68
	国際女性デー	69
2007・03・11 (日)	幸せの置物	70
2007・03・13 (火)	新聞休刊日	72
2007・03・19 (月)	毎日の暮らし	73
2007・03・21 (水)	もし日本へ帰ると	75
2007・03・23 (金)	ダンス	76
2007・03・25 (日)	ゴルフのない週末	78
2007・03・29 (木)	頭痛と枕	79
2007・04・03 (火)	レパトリー・オブ・仏教聖歌	82
2007・04・06 (金)	アニカのシャツ	85
2007・04・09 (月)	M-style	87
2007・04・10 (火)	花火モード	88
	ああい天気	90
2007・04・14 (土)	バタフライパークなのに	91
2007・04・16 (月)	アクアリア (Aqua ria) KLCC	93
	一日乗り放題4リング	96
2007・04・17 (火)	MPO	98
2007・04・18 (水)	プレイランド	100

2007・04・22 (日)	夜、廊下に貼り付いていた	102
	風化	103
2007・04・25 (水)	これも蓮の花?	104
2007・04・26 (木)	新しいアゴン	105
2007・05・02 (水)	いつが本当の休日なの?	106
	キャディーの日当	107
2007・05・05 (土)	いつも綺麗な庭	109
2007・05・06 (日)	新開店	111
2007・05・08 (火)	soho?	113
2007・05・10 (木)	部屋探し	115
2007・05・15 (火)	決まっちゃった	117
2007・05・20 (日)	食器を下げる仕事は	119
2007・05・24 (木)	通り道	121
2007・05・25 (金)	SUMOU Lah (すもう ラ)	123
2007・05・30 (水)	家のオーナーは29歳	125
2007・05・31 (木)	木の涙?	127
	パイレーツオブカリビアン	127
2007・06・02 (土)	サイバー大学は日本では有名なんですか?	129
2007・06・07 (木)	たいして荷物などないはずなのに	130
2007・06・10 (日)	いいこと・よくないこと・ちょっとずつ	132
2007・06・12 (火)	入居の仕方	134
	ヘナ	135
2007・06・21 (木)	引越してから1週間	137
2007・06・23 (土)	トイレのフラッシュ	139
2007・06・26 (火)	バティックのエプロンセット	142

2007・06・30 (土)	ゴミ回収の人ってすごい	144
2007・07・01 (日)	いろんな疑問	146
2007・07・02 (月)	小さなお店	148
	ワイヤレスルーター	149
2007・07・06 (金)	自作のキッチンはひどいんだが・・・	151
2007・07・07 (土)	電車の床がこんなに!	153
2007・07・09 (月)	インターネットが通じない	155
2007・07・12 (木)	花の持つイメージ	157
2007・07・17 (火)	プロモーション価格だったわけだ	158
2007・07・19 (木)	ハリポッターと見えない世界	159
2007・07・20 (金)	どんなご飯が好き?	161
2007・07・23 (月)	阿頼耶識(あらいしき)	163
2007・07・26 (木)	楽しかったことと困ったことと、どっちがい いかな	165
2007・07・29 (日)	タンゴ	167
2007・07・31 (火)	ファイヤープロブレム	170
2007・08・02 (木)	シャワーだけ	172
2007・08・04 (土)	久しぶりの日本料理	173
2007・08・07 (火)	日の出	174
2007・08・10 (金)	昔ながらのシーフード店	175
2007・08・12 (日)	マレー系の屋台	177
2007・08・15 (水)	パパイヤを割ったら	180
2007・08・17 (金)	京都五山の送り火	181
2007・08・18 (土)	美しい国	183
2007・08・21 (火)	パソコンの講座	184
2007・08・22 (水)	久しぶりの講座は面白かった	185

	かめゼリー	188
2007・08・23 (木)	ミニチュア模型	190
2007・08・28 (火)	ぶらり	192
2007・08・30 (木)	独立50周年記念日はもうすぐ	194
2007・08・31 (金)	31日になった	196
2007・11・17 (土)	70日間日本滞在終了	198
2007・11・20 (火)	出入りはどうするのよ	199
2007・11・21 (水)	スパイシーパダン	201
2007・11・23 (金)	工事現場観測	203
2007・11・24 (土)	岩手フェア	205
2007・11・26 (月)	マレーシアの鉄道 (K T M)	207
2007・11・27 (火)	2週間じゃ無理かやっぱり	212
2007・12・02 (日)	南国の冬景色	213
2007・12・03 (月)	案内表示	214
2007・12・07 (金)	自分のブログを製本?	215
2007・12・08 (土)	get together (懇親会)	217
2007・12・12 (水)	モデルルーム	219
2007・12・16 (日)	ちょっとショック	222
2007・12・22 (土)	おや?あの明かりはなんだ?	224
2007・12・23 (日)	PDFファイルの便利さ	227
2007・12・27 (木)	日本からの年賀状	229
2008・01・02 (水)	あけましておめでとうございます	233
2008・01・04 (金)	マレーの結婚写真から	237
2008・01・09 (水)	リサイクル箱?	242
	ガーデン	243
2008・01・11 (金)	ビル建築中・続き	245
2008・01・14 (月)	一人暮らしの食事	246

	赤いナンバープレート	248
2008・01・15 (火)	非常ベル	250
2008・01・17 (木)	中国正月向け出店	251
2008・01・18 (金)	グランドオープン	253
2008・01・22 (火)	Bonanza	257
2008・01・23 (水)	海外安全情報	259
2008・01・24 (木)	沼地	260
2008・01・27 (日)	スクラップブッキング	261
	タクシーの事故	262
2008・01・30 (水)	ロープウェイ	265
2008・02・01 (金)	2月1日はクアラルンプールは何のホリデー	268
2008・02・02 (土)	マンゴいろいろ	270
2008・02・04 (月)	魚生 (イーサン?)	272
2008・02・21 (木)	最近の結婚式	274
2008・02・25 (月)	パビリオンに行く	276

2007・01・14（日）

きゃ～こんなに大きくなって

2007年はじめてです。今年もよろしくお願いします。

体の不調から報告するのは申し訳ないですが、マレーシアに戻ってきたら、なんだか体がだるい。まるで夏バテのよう。

冬の日本で、汗もたいしてかかず、あちこちいろんなところへ毎日出かけていたせいか、たくさんご馳走を食べ過ぎたせいか・・・

ほとんど徒歩であちこち歩き回り、最後あたりは、どうも足に違和感が・・・

マレーシアに戻ってくると、足が痛い痛い！まるで細菌にやられたように右足全体が痛くて、不思議な感じだった。

神経痛か、リュウマチか、ヘルペスか・・・などと気に病んだが、1週間ほどたつと症状もだいぶ治まってきた。

頭のふらふら感は、まだ少しあるが、動けないので、読まない本を続けて読んでいるせいかもしれない。

帰ってきて最初に思ったことは、家がごちゃごちゃしていて、汚いということと（よく言えば、カラフルなレイアウト）、出かけるときは5センチほどだった唐辛子の木が大きくなっていったこと。

ようやく1個実をつけたところだった。

ああ、1ヶ月も日本で過ごしたんだなあと言う実感が湧き上

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-

がってきた。

いろんな体験のできた1ヶ月だったので、自分の時間軸は一瞬だったが、時間は確実に経過していたんだと思った。

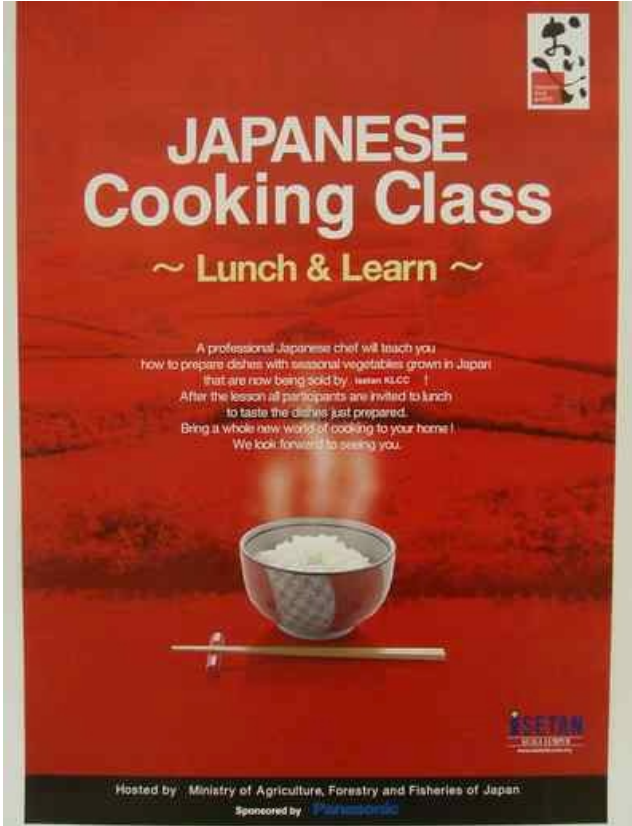


今年の抱負は、もうちょっときれいな住まいに移転してみたいけれど、さて・・・金額、便利さ、環境・・・

そんな目で見回してみるだけでも、楽しさは増えるかも。

今後ともどうぞよろしく。

クッキングクラス？



日本料理の教室の募集ポスターを見かけた。

たしかに、スーパーマーケットの日本食材売り場で、中国系の人が眺めているのをよく見かける。

マレー系の方は、日本食はハラルじゃないから、多分ダメだろうとは思っている。

日本人シェフが教えてくれるらしい。興味津々ですね。

2007・01・18 (木)

ようやく貰えた



去年の9月1日にしたホールインワンの記念のトロフィーをようやく今日手にした。

こちらに1ヶ月ほどいなかったこともあるが、もう何ヶ月も経っていて、はるか遠い昔のことのようにだ。

あれから、何故かつき物が落ちたように、ゴルフの機会が減り、意欲も減退してきた。もう充分遊ばせて貰ったとでもいうしるしだろうか？

なんだか、もっとほかにすることがあるんじゃないの？と言われているように取れないこともない。

さて・・・

2007・01・21（日）

新築マンションは？



どこかに引っ越したいなと思って、人に話しているうちにチャンスがやってきた。中国系の知り合いが、新聞を見て周旋やさんとでも言うのだろうか連絡してくれた。待ち合わせの玄関から、一人の女性が案内してくれた。

この白いコンドミニアム。便利な場所にあって、結構目立つ。

新築だときっと高いに違いないと思っていたが、家具付でなければ、まあまあの金額。1800スクエアフィートとかだが、日本人にはなじみのうすい単位だが充分に広い。

玄関を入ると大きなダイニングリビングルーム、バスとシャワー付きの主寝室、シャワー室共用の2つのベッドルーム、メイド用のシャワー付き小部屋、大きな独立キッチン、室内の洗濯部屋と、ストックルーム。各ベッドルームには備え付きのワードローブ。

これらがちょいといい家庭のコンドミニウムだ。床は暑い国なので、大理石か石かタイル。モップでの拭き掃除が簡単なようにできている。

3つの部屋を見ることができた。13階、7階、5階。角部屋は各部屋は明るいのだが、そうでない部屋は、廊下に面していて、暗くて死んだ部屋になってしまっている。リビングからの見晴らしが明るい分、とても暗く感じる。

キッチンは独立型。メイドが料理したりが前提になっているので、汚いものは見たくないとはばかりに、私から見ると押し込められたようで、この物件は没。

オープンキッチンがひとつあったが、テレビから冷蔵庫までフルファニチャー（家具つき）となっているので、予算オーバーだし、カーテンでなくて縦のブラインドで、窓を明けるとバサバサと音がしてうるさい上に低層で見晴らしが悪い、これも没。

結局、どれもよくなって外観とは裏腹に内部が全体的に暗い。

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-

マレーシアの家の作り方が、家事をする主婦の目から見たものでないのが、気に入らない点だ。少し経済的に余裕のある家は、家事や料理はメイドがするものという建前なので、リビングダイニングと主寝室はすごく豪華にできているが、そのほかはいい加減な感じに作られた感じがする。

家に帰ってみたら、11階のうちのほうが景色がよかったです。

でも新築には心惹かれるよなあ～。きれいなバスルームはいいよなあ～

これって決まらなかったのは、またどこかに行くチャンスが持てたということかなあ。いろんなところを見学できるのはいいが、予算内ではなかなか希望の物件はない。

駐車場というのも、レンタルのキーポイントにもなる。

車社会なので、駐車場の便利さも大切だ、地下の何階分もくるくる回らないと外にいけなかったり、毎日のことだし、また渋滞地域でコンドから出られないようなところもあったりで、これからこの国の交通事情も気になるところだ。

また、私にとってはタクシーが簡単に拾えるというのが大切な点でもある。

一戸建て住宅



住宅開発されたエリアの一戸建て（バンガローハウス）。長屋風の建物も含めて、300戸ほどの地域の中で、1戸建ては28棟だという。

基本的な値段は、1戸建ては180万リンギットだと言っていた。20万リンギットくらいからコンドミニアム（マンション）があるから、やはりかなり高級だ。前回のコンドミニアムは、買う場合60万リンギットくらいだと聞いているので、3倍くらいの値段だ。

しかし、外観上、各家に個性があるようには見えない。すべて同じ素材を使っているように見える。統一がとれた街並みとも言えなくもない。

家の前に多くの車が何台もとめられるというのはすごい。もちろんメイドさんがいるが、彼女の仕事は家が広いから仕事はなかなかハードだろうなあ。

ようやくお目見えか



サウジャナゴルフクラブの玄関は、ずいぶん長い間リノベーションしていた。

今日、用事で寄ってみたら、工事用のトタンがはずされていて、中が見えた。いよいよもとの玄関に戻るんだなあとと思う。1年以上はかかっているよね。資金の都合だろうか？まあとりあえずよかった。

受付がガラスに囲まれて、コンディションがよくなるんだろうなあ、スタッフにとって。パギーも見えるところにあるので、スタッフが取りやすくなっているのだろう。

ところで、2月8日からマレーシアオープンが始まる。なんと今年も、サウジャナであるようだ。去年こそなかったが、その前の2年も続いているし・・・なんでかなあ。

2007・01・23 (火)

Sinking Of Japan (日本沈没)



小松左京原作の「日本沈没」の映画化2006年度版をみた。

いつもの映画館は、朝と夜の2回で、時間が合わないので、ムティアラ・ダマンサラの新しい映画館で見ることにした。やはり上映は2回。お客が少ないのだろう。案の定、1時35分上映のお客は10数人。日本語はやはり理解しにくいのだろう。英語とマレー語の字幕つき。

「日本沈没」を調べてみたら、

1970年=小説(1963年より執筆)

1973年=映画・東宝

1974年=テレビ・東京放送

1995年=コミック・さいとうプロ

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-

2006年=小説・第二部

2006年=映画・東宝

となっている。ずいぶん取り上げられていたのだなあと思う。

35年ほど前に読んだ小説の頭で、映画を見た。どんな筋だったかも忘れていたので、新しい映画というイメージで見ることができた。

昔は、SFとして読んだが、現在、50代半ばとしては、実際にことが起こったときの、自分の処し方について考えさせられた。

政治家、天皇、飛行機のパイロット、消防隊、自衛隊・・・それぞれのあり方に心が潰れそうだ。なんだかとても涙が出た。

映画の筋書きが、最後には日本が沈もうが、かろうじて助かろうが、恋愛を絡めようが、大勢に影響はない。

日本という国がなくなるということを想定してみたらどうなるかということだ。

そして、海外に住む日本人として、難民になったときの自分を考えるととてもつらいものがある。

日本人が、日本国民としてでなく、個人で生きていくことが

できるのだろうか？よその国の国籍を貰って生きていくことができるだろうか・・・

小説の第二部は、難民となった日本人のことなどが書いてあるという。読んでみないとダメだと思った。

日本という国があるからこそ日本人。

何気なく、海外で日本人として暮らさせてもらえること、本当に有難いと思う。

2007・01・25 (木)

グーグル

先日の日曜日に、NHKでグーグルのこのテレビ放送があったのは、ご存知の方も多いでしょう。マレーシアでも放送されました。

その前に、紀伊国屋書店KLCC 2階で、2006年2月発行の梅田望夫著の「ウェブ進化論」を買って読んだところだった。

本を読んだ時点では、すごいなあ、グーグルって若くて、才能が伸ばせていいなあなどと思っていた。

その後、新聞の片隅で、中国が国内のパソコン使用者の検閲をしているのが周知の事実で、それをグーグルなども手助けしているというようなことが書いてあった。

その時点で、一見自由に見える世界が、急に息苦しさを感ずるような気分になってしまった。

私などは、あちこちでメールを登録し、カードを使い、ホームページやブログまで出しているのだから、もう限定された私という像が完全にあるのだと思った。

もう地球中、逃げ隠れはできない。これがすべての人に、平等に自由に使える間はいいのだが、ひとたび何かが起こったら

.....

グーグルの社長のインタビューで、彼の顔を見ているうちに、ひょっとしたらこの人が、自分のマスクを脱いだら、**
*の顔ではないかと思ってしまった。不謹慎だろうか。

杞憂だといいが・・・

Air Asia(エア・エイシア)

Air Asia は、マレーシアの格安運賃の航空会社。先日、1万人無料キャンペーンを展開していたが、もう定員いっぱいになったのかもしれない。

2月にチャイニーズニューイヤーがあり、土日を入れて、4日の連休になる。たいていのお店が閉まったりするので、どこかへいこうかと思うが、旅行会社に行ってもいまごろなあ・・・
・とあって、インターネット予約することにした。

あちこちで、ホテルを探す。いいホテルはどこも満室の様様。どこでも泊まれればいい。あった！コタキナバルの街のホテル。安いので少々心配。

次は、飛行機。どうせなら安く行こうかと、エア・アジアで選ぶ。あった。

これも少々心配。

チケットなどしゃれたものはなく、当日プリントアウトした紙を持っていけばいいらしい。レシートのような紙をくれるらしい。

聞いたところでは、機内の食べものサービスはないが、機内

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-

販売があるそうだ???

水が6リンギ（普通は1リンギ）、サンドイッチが、7リンギだとか。

おいしくない食べ物無理やり食べさせられるよりいいかもしれない。

あるとき、メイドにフィリピン往復のチケットを取ってもらえないかと頼まれた。何とか期待にこたえられた。往復12000円ほど。半分以下だ、彼女の賃金からすれば、ずいぶん大きな違いだ。

日本まで行ける便があったらと思うが、2月に実際に乗ってから、その体験をお話したいと思う。無事に帰れたらですが・

・

まだ大きな事故はおきていないらしいです。

2007・01・29（月）

何だと思えますか？



日曜日のゴルフ場は、コンペが入っているし、途中から人も入れるので、待ち待ちプレイで大変に疲れる。

今日は8時スタートのコンペで、2時ごろまで。

日本のように、昼食タイムはなくて、そのまま、ず〜っとプレイが続く。忍耐力がいる。集中力を欠くとスコアは極端に悪くなるので、要注意だ。

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-

そんななか、「赤ちゃんリス」らしいのを発見した人がいた。どうも拾ったので、持って帰るつもりらしいけど、育てられるのかしら？

若い時代なら、私も持って帰ったかもしれないが、小動物が病気でも持ってたらどうするのかしらとか、年とった分、余計な経験や知識が邪魔をする。

はじめから無理と決めてる自分がいる。

お母さんはどうしたのだろう？

単に巣から落ちたのだろうか、落とされたのだろうか、お母さんは食べられてしまったのだろうか？・・・いろんな想像が頭をめぐる。

日本人会の新年会で



阿波の人形浄瑠璃の人たちが、徳島から来てくださった

らしい。

ラッキードロ―目当てにちょっとのぞいただけだったが、たまたま目にする事ができた。徳島の人らしく、公演後、阿波踊りを披露して下さった。

真夏の新年会、「明けまして、おめでとうございます。本年もどうぞよろしく」が、ちょっと恥ずかしい。

イベントの企画運営をしていただいた皆さんありがとうございました。いやぁ子どもが小さいときに、お世話になっているような時期でしか、なかなかお手伝いというのはできないものですねえ。

もう見せてもらう側に回ってます。

2007・01・31 (水)

ああ、チャイニーズニューイヤーがやってくる



毎年のことだが、何かとお正月がたくさんやってくる。年中同じと思っていても、買い物客相手のイベントやディスプレイで、気づかせてくれる。

目で見て、中国正月を確認。

今回の休みは、土日を挟んで4日間（17～20）。前に中国正月に家において、どこも閉まっているのに懲りて、手作りの旅に出かけることにします。

東マレーシアの「コタキナバル」へ、

どこへでも行ってみないとどんなものかわかりませんので。ゴルフ道具はもって行きません。キナバル公園で、少しだけ自然に触れることができるかも。

2007・02・02（金）

天気がいい日に



午前中はまあたいていいい天気だ。日本のように朝からどんよりとした日が続くというようなことは少ない。

どんよりした日は、かえて「ゴルフ日和」とばかりに喜ぶ人が多い。

というものの、風があつて太陽がきらきらしているときは、気持ちがいい。虫たちも同じかもしれない。いつも通る道で、今まで気づかなかった花、きっと今までは咲いていなかったのだろう。

今日は天気がいいので、花も開いたら、虫たちがやってきたのか。やはりできたての花はおいしいのかもしれないと思う。



ちょっと幸せな朝でした。

仏教聖典朗読

だいぶ前に、仏教の経典が、聖書のようにホテルの部屋に備えられているということに驚いたことがある。

仏教もそんな風ががんばっているんだと思ったきりになっていた。

今日たまたま、インターネットの検索にかけてみて驚いた。

「ミットヨ」という会社の会長が、仏教を広めるために、会社を興したのだとわかった。

金儲けのために、会社を興すということが当たり前と思っていた自分には、結構衝撃的だった。こういう仏教の歩み方もあるんだと思った。

聖書を配布するのは「仏教伝道協会」

朗読というコーナーのその中に、「仏教聖典朗読」がある。

朝の部1部から聞いてみた。

心がきれいになるような気がする。

例えば、第1話「4つの真理」

この人間世界は苦しみに満ちている。生も苦しみであり、老いも病も死もみな苦しみである。怨みあるものと会わなければならぬことも、愛するものと別れなければならぬことも、また求めて得られないことも苦しみである。まことに、執着を離れない人生はすべて苦しみである。これを苦しみの真理(苦諦[くたい])という。

人生の苦しみが、どうして起こるかということ、それは人間の心につきまとう煩悩から起こる。その煩悩(ぼんのう)をつきつめていけば、生まれつきそなわっている激しい欲望に根ざしている。これを苦しみの原因(集諦[じつたい])という。

この煩悩の根本を残りなく滅ぼし尽くし、すべての執着を離れれば人間の苦しみもなくなる。これを苦しみを滅ぼす真理(滅諦[めつたい])という。

この苦しみを滅ぼし尽くした境地に入るには、八つの正しい道(八正道[はつしょうどう])を修めなければならない。これらの八つは欲望を滅ぼすための正しい道の真理(道諦[どうたい])といわれる。

この4つの真理を人はしっかり身につけなければなら
ない。

これを朗読して聞かせてくれるのだ。すごく心にしみる。
ぜひお勧めです。

こういう事業をしておられる方がおられるから、日本はまだ
まだ捨てたものではないと思える時間がもてる。
ありがとうございます。

2007・02・03 (土)

ちょっと見つけた



ちょっと見つけた。華やかで美しい。

2007・02・05（月）

バスはいろいろ



今月のシンガポール行きのバスは、帰りがいっぱいだったので、2階建て？のエアロラインにした。

サロンカーということだったが、なんだかはじめから人が座っていて、全然利用できないサロンだ。食事やコーヒーもついたので、少々価格は高い目。

一番前に座れたからよかったが、ほかの席はそんなに広い感じもせず、税関での乗り降りが2回あるが、荷物を持つての階段の乗り降りは面倒に感じた。

いくつものバス会社や路線バスもあるので、時間帯や価格、サービスを比較して乗るのも面白いかもしれない。

ただし、バス会社によって、発着場所が違うので、しっかりと確認が必要だ。

今回のシンガポール発のエアロラインは、青色（シンガポールの電車・北、東ライン）の路線の終点の、ハーバーフロント駅のビルの中にあった。はじめていくには少々難しいかな。

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-

バスの乗り場に案内されて初めて、セントーサ島へいくロープウェイのあるところだとわかった。次回は、ゆっくりとした時間をとって観光もいいなあと言う気分ですね。



2007・02・11（日）

お祝い用



色のついたチキンラーメンのようなものやアーモンドフレークかコーンフレークのようなものに、サーモンの刺身のようなものを乗せ、たれをかけて、食事を一緒にする人が箸で混ぜあう。

中国正月などにお祝いの料理として出すのだそうだ。

スーパーなんかで、パックにして売っているのを見かけるが、どぎつい色にびっくりする。

前にそれらしきものを食べたときはまずかったが、今回はレストランで食べたので、案外とっては失礼だが、おいしかった。というか、こちらの味に慣れてきたせいでもあるかもしれません。

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-

あとは、普通に注文したもの。野菜、豆腐、豚肉、なまこ、えび、デザートなど・・・

私にはおいしかった。豚肉はトンポーローみたいなのだが、少し甘すぎたかな。でもご馳走様でした。

おごってもらったからというわけではありません。そういうところへ連れて行って来てありがとう。

2007・02・12（月）

写真とってきたよ



ありました、ありました。スーパーマーケットに売って
ました。

緑色や鮮やかな色のチキンラーメンみたいのや、上にはサー
モンの刺身、たれもついてるんでしょね。39リングほど。

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-

安くはないですね。

よその国の食文化というのは、やはり違うモンなんですね。改めて感じます。もっとも日本のおせち料理がいいかというと・・・最近の若い人には、あまり人気ないですね。

いつでも好きな場所で、おいしいものが食べられる時代ですから、食文化にも変化があるのでしょうか。

2007・02・16（金）

鮭

知り合いから、「魚おろせますか？」と電話が入った。刺身にできるような「さけ」を貰ったという。

まあなんとかなるだろうと引き受けた。家庭用の包丁しかないので、とりあえず磨いで待つ。

まず鱗を取り、丁寧に水洗い、やはり「さけ」は大きい。家庭用のまな板など小さく見える。大きいので頭をとり、身を二つに切る。軟骨の辺りを探って切れ込む。それから2枚におろす。

骨のついたほうも何とか身をきれいにはずせた。骨に多少身はついているが、かす汁とかにすればいいやと思う。

まな板に乗るくらいの大きさになると、ほっとする。

その様子を見ていた知人は、多分そんなことならできるのにと思ったに違いない。持って帰ってあとはすると言う。

ところが持って帰ったら、自分の包丁（中華包丁）が皮も切れなくて、身が潰れそうだったということだった。あらまあ、大丈夫かしら・・・

見てるほど簡単じゃないもんねと思う。でも私でも多少は役に立ってよかった。

さけの刺身はこちらの人は好きなのだが、私は昔の知識（さ

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-

けは寄生虫が危ない)が、どうしても頭から離れないので、あまり食べたくない。

頭と少し身を貰った。アラ炊きがおいしかった。ありがとう。身はカルパッチョにした。

ただ、台所も手もいつまでも生臭いのは、困ったけど・・・

コタキナバル

こちらは、いよいよ、18日からは中国正月です。暦どおりに休みのところや、9日ほど休むところやいろいろです。近くの八百屋さんは、9日間休むそうです。困るなあ。

近くの店が閉まるので、2泊3日で、コタキナバルへ行くことにしました。

インターネット予約した格安航空会社や三ツ星くらいのホテルなど格安旅行です。何の知識もなく、コタキナバルにしたのです。

さて無事かどうか、多少の心配はありますが、楽しみたいと思います。

先日初めて会った海外青年協力隊の人(サバ大学でITを教えていたそうです)が言うには、サバ州の山奥には首狩族とかがいたらしいとか・・・昔ですよええ、そんな話。かな？

マレーシアではあちこちで、旧日本軍の話が残っています。多分、コタキナバルにもあるでしょう。

戦争にいった人のこと、ほとんど知らない。いや、なんとなく知らないでおきたいという気持ちが心の奥底にあるのかもしれない。

人間達がしてきたことを、素直に見つめなければならない年になってきたのでしょうか。

何かできることはあるでしょうか。

硫黄島の映画も見たいし・・・こちらでも見れるかなあ。

2007・02・22（木）

エアアジア初飛行体験

なんでも初めてというのはドキドキしていい。

インターネットで申し込んだので、プリントアウトしたA4の用紙だけが頼り。

それを持って、朝6時ごろに到着。思ったより朝から、すごく人が多い。中国正月のせいかもしれない。

受付場所は、一般の飛行場とは違う場所にあるが（貨物便などと同じ）、ひょっとしたら滑走路は同じのを使うのだろうか？というのは、飛び立つまで、かなりたくさんの距離を飛行機で移動したので不思議に思った。「タイヤの減るのが早くなるじゃないの」と思ったものだ。



簡単な建物の受付で、順番を待つ。係りのお姉さんが遅れた

せいか、すごく行列が長い。

だいぶ待たされて手続きが終わったら、なんと！、レシートのような搭乗券。



いよいよ搭乗、55歳からはシニアなので、子どもたちにまぎれて、先に搭乗させてもらう。

というのは、自由席なんです。早く行った人から好きな席を取れるので、年寄りと子供づれは先に行かしてくれる。



小雨の中、傘を借りて搭乗する。懐かしいような景色。飛行機も横が3人ずつの6人がけなので、飛行機は小さい。古そう
で、だんだん心配になってくる。

10分くらい車輪で走ってようやく飛び立つ準備ができた。

体に来る振動も相当なものだ。でも無事飛び上がり、難なく
着陸することができた。

スチュワーデスも乗っているのだが、シートベルトの締め方
とマスクの使い方は普通と同じように教えてくれる。そのあと
が面白い。

列車のように、機内販売が始まる。カップヌードルにお湯も
注いでくれるし、サンドイッチや飲み物もある。機内中に、
カップヌードルのにおいが漂う。

帰りの飛行機では、赤ちゃんが2時間の間ずっと泣いていた。前に来て（空いていたので）あやしていたが、スチュワードさんが一切かまわないし、少しトラブルがあるときはどうなのだろうなあと思う。

往復を体験したが、安さを追求して、できるだけサービスを省いた飛行機を選ぶか、普通のサービスを選ぶか・・・次回はこちらを選ぶだろう。

万一事故のとき、誰がどこに座っていたかも分からないし、でもまあ、落ちたら特定できないのは仕方ないか。安全以外のサービスを省くということは、よいような悪いような・・・

安いということは、いままで乗れなかった人々も乗ることができるということでもあるのだが・・・

移動を1回にするか、2回にするか??考え次第でしょう。

コタキナバル1日目

エアアジアで無事到着したはよかったが、イミグレーションでストップ。

KLに住んでいるので、国内旅行のつもりで、主人は働く人用のカードを持っているから、これで充分なのだと言い張って、パスポートを持っていかなかった。（私はもって行きました）

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-

すると、東マレーシアと、西マレーシアでは、移動にパスポートが要りますということだった。マレーシア人は、IDカードを全員持っているのだから、それでいいのだが、外国人の場合は、国内といえども、パスポートが要るということなのだ。普通の旅行会社で申し込んでいたら、きっと注意事項にあっただろうと思う。

しかし、ありがたいことに、入国拒否もされずに、問い合わせてもらって、帰るときに要るだろう用紙をくれた。

どうぞご注意ください。マレーシア滞在に慣れてきた不注意でもあると思います。あくまでもここは外国なんですから。

本当にありがとうございました。

ようやく開放されて、タクシーでやはりインターネットで予約した、市内のホテルに行く。昼少し前だったが、チェックインはOK。部屋に飾ってある絵で、ボルネオだと感じる。



今日の予定はなし、夜の食事はホテルに予約を入れておく。
(といっても、全然何のイベントもなかった)

昼食でもと思って、外に出るが、めちゃ暑い。バス乗り場で声をかけられたので、分からずに乗ってみる。どこへ行くかわからないけど、外に立ってるのも暑いので、乗ってるほうがまし。ドアも開けっ放しの、シートもガクガクのバス。1リングほど払う。いくらかも分からない。

車掌がどうも降りたほうがよさそうな顔を、するので降りてみたら、正解。博物館の前だった。

暑いしほかに何もなさそうなので、博物館へ行く事にする。



入り口でびっくり。マレーシア人は2リンギ。外国人は15リンギだって！高い。入るとすぐに、カメラを預けさせられた。これは無料。

民族の歴史や、種族など、旧日本軍の写真も少しあった。

結構しっかりした内容だったと思う。（ほかのマレーシアの博物館に比べてということですが）

博物館に食堂らしきものはないので、仕方なく少し降りたところで、食事。

バスに乗って戻ることにする。市内の道はメイン道路は1本だけみたいだ。

ホテルは下町にあって結構便利なところにあることが判明。中国正月前日で、マーケットには人があふれている。海の見えるところまで歩いたり、疲れたので、ホテルに戻る。ではまた明日。

2007・02・24（土）

キナバル公園へ



これまたインターネットで申し込んだバスツアーに参加。お金も払ってないのに、確認の電話もないし、大丈夫かなと思って待つ。

でもちゃ〜んと、朝8時にバスのお迎えがあって、「キナバル公園とポーリン温泉」というバスツアーに参加できた。

バスで、コタキナバルから山道を2時間半から3時間かかるという。ええ〜っ。

遠くに見えていたときは、小さい山かと思ったら、4095.2メートルで、富士山より高い。近くによると全景が見えないので、バスの車窓からの山はこんな具合です。

途中でトイレ休憩をかねて「ナバル村」に立ち寄る。

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-

お土産を買おうと思うが、これといって買いたいものがない。トイレの番をしている人の横に、弓矢が掛けてあった。それがいいなあと思って尋ねたら、50リング。結構しっかりしているの、ひよっとしたらほんとうに使えるのかもと思う。

で、見境なく買っちゃった。(飛行機に乗って持ち帰るということを忘れていて、荷物でほんのちょっとだけど、厄介だった。白いのは30センチのものさし)



公園の散策はきれいなランや珍しい植物を見ることができて素晴らしかった。道もちゃんと整備されているし、誰でもいける。

植物の名前のプレートが4種類あって、キナバルしかないのは、赤いプレートで表示されていた。青プレートは薬になるもの、黒プレートは食べられるもの、緑プレートはラン仲間という具合。

山に住む人々は薬草を使用して病気に対応してきたという。少しだけ珍しい花の写真を。



キナバル公園では9種類のうつぼかずらが見られるそうです。

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-



スリッパ蘭はキナバル・ゴールドともいいます。



ポーリン温泉



源泉らしい。ゆで卵禁止、足を入れないで！という看板があった。

足入れたら大変だ。

はっきり言って、ここには失望した。休日なので、あちこちから来たのだろうが、人があふれかえっている。



しかも、イメージの温泉とは程遠い。あったかいプールというイメージでしょうか。

プライベート用の温泉もあるらしいが、がっかりだ。勝手にイメージするほうがいけないのだろうが・・・

足湯だけもあるというが、暑い国で誰彼なく、生暖かい湯に足をつけるというのには不潔感が先に来る。

温泉の湯は、しゃきっと暑いのがいいよね？

近くに蝶の公園もあったが、時間的にも暑さ的にも行く気になれなかった。

家族連れで、お弁当を持ってきている人が多かったが、もう少し、ゆったりとした場所があるといいのにと思ったけれど、山の中だから坂道は仕方ないのかな。

キャノピーウォーク

前から一度歩いてみたかったつり橋。つり橋まで少し山道を歩き、往復1時間ほどかかった。結構足に来て、数日ふくらはぎが痛かった。



山の中の川や深い谷を渡るために、つり橋が作ってある。合計3本ほどだったかな。1本わたったとき、もう充分と思うが、戻るに戻れないので、前に進むのみ。

マレー系の親子は、サンダル履きで、子どもが泣いて非常に怖がっていたが仕方ない。戻るも進むもどちらも怖い。ようやく3本わたったら、空中をふわふわするような感じが残る。

景色などあまり見てない、渡ることに必死だった。あとで考えるともっとゆっくり見たらよかったと思ったが、怖いので先に進むことばかりだった。下を見ると怖いからまっすぐに見てね、などと言われるものだから・・・



毎年、点検されているので大丈夫ということだった。ジャングルの大きな木を利用して、ワイヤーロープで吊っている。ところどころ木の皮が剥がれていたりもあったのが、大木に申し訳ないくらいだ。

約1時間の山登りはとても楽しかった。ちょうどいいくらいの運動だ。

標高は1500メートルくらいのところらしい。涼しい。

本格的にキナバル山に登頂するには、1泊はしなければならぬらしい。私には、このキャノピーくらいでいいなと思った。

日本から81歳の高齢者も来ていたが、私より元気だったかもしれない。ちゃんと往復されました。

ラフレシア



世界最大の花「ラフレシア」といわれている。どこで咲くかはなかなか分からないようだ。公立の場所では、250リングも払って見れるかどうか分からないというほどのものらしい。

しかし、なぜか、道路沿いにラフレシアはここですよという看板があると、一人30リングを出すと見れるらしい。ということで、やっぱり見たいのが人情。

蕾から開花するまで15ヶ月かかるのに、花は1週間ほどでしぼんでしまうのだそうです。これは3日目の花です。



花の中にはハエがいたり、どろっとした粘液のものがあって、見た目にも気持ち悪い。

マツタケと同じように、きのこの仲間らしい。ある種の植物の糸状の物の上にはしか生きられないようだ。ハエが足に菌糸となるものをつけて、その植物の上にとまって、うまく行けば成長するという。

これも幾種類かはあるという。人口的に作れないのだそうだ。

花そのものが、まったく作り物のような気さえがするのだが・・・ガイドは本物だよってました。

熱帯の花ですねえ。

2007・02・27（火）

贅沢に夕食を演出？

朝からバスに乗り、山歩きなどでくたびれてホテルに戻って、汗を流して一休み。さて、夕食はどうするか？旧正月1日目で気の利いたレストランは開いていない。2日も続いて同じホテルで食事というのもさびしい。

あれこれ観光案内を探して、高級リゾートホテルに行って食事をすることに決めた。宿泊客のような顔をして、レストランで食事をするということになる。ちょっとどきどき。きれいな服を着て、一番よさそうなホテルへタクシーを走らせる。

いくつかのレストランをどれにしようかと回りながら、ホテルを見学。

「これだ、これ！これこそがホテルというものだ」と確認する。高い天井、広いロビー、天然の材木を豊富に使い・・・シャンデリアも洗練されて・・・お店にあるお土産用の品物もセレクトされたものだ。

安いホテルに泊まるからこそ分かる贅沢さ。

結局は、海の音を聞きながら、ライブもあって、そんなシーサイドのレストランで、夕食をとることができました。まったく素晴らしい体験でした。

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-



グラスワインとビール2杯と二人用のお徳用シーフードセットで、200リング（6500円くらい）

そのあと砂浜を少し歩いて、とてもきれいな星空を眺めることができました。

おやすみなさい。（もちろんすぐにシティーホテルに戻りましたが）+タクシー代（食事代に近いかも）

2007・02・28（水）

コタキナバル続き

引き続きコタキナバルツアーです。

帰る日なので、短時間のバスツアーを申し込んでいました。

陶器工場も見学というので、それを楽しみにしていたら、中国正月で工場がしまっているからそこへは行かないという。

そんなことは初めからわかっていることじゃないか、何週間も前に予約しているのに・・・と思うが、キャンセルして50パーセント取られるよりはましかと思い直してついていくことにした。

町のマーケットや魚の市場を見学したって、時間も遅いし（10時ごろ）何も朝市らしくはない。KLでも充分に見られる。道の途中にあるモスクを前に写真を撮るといったって、たいしたモスクでもない。

なんだつままないなあと思うが、マングローブの林を見るのが、唯一の楽しみとなった。

さて1時間ほどバスで走って、川辺に到着。大型バスの日本人客もいる。

こちらはマイクロバスなので、水辺の近くまで乗り入れる。ライフジャケットを着て、ボートに乗り込む。

この川にすむ部族は「バジャイ族」で、昔は船に住んでいたが、今は一応家に住んでいるということだった。ランプの生活だそうだ。魚を採り、市場で売るといったような生活をしているらし

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-

い。それと観光と。



川といってもすごい水量だ。あちこちに点在する島は、みんな

なマングローブでできている。ところどころにぼろきれがぶら下がっているの、氾濫したときに流されたのかと思ったら、お墓があるしうしろだとか。



マングローブがどんどん伸びてる様子。マングローブだけの島なのか、土の島があるのかよくは分からない。



マングローブの種というのを見せてくれた。40～50センチの先のとがった形で、自然落下して土に刺さるようになってるらしい。そして、頭の部分から芽が出てくるのだそうだ。それをスポッと引き抜くと、まるで万年筆のようにになっている。自然の形は素晴らしい。茎の内部は、ろ過作用のするものがあるって、海水を真水に変えて利用できるらしい。

人間は自然から学んで、いろんな方面に利用しているのですね。



お客一人一人に、かにを採る網を水中へ投げさせてくれた。引き上げてみたら、5人中2人のかごに、かにが入っていた。改めて、かにのいることを確認できた。市場でよく見るかにだ。

内容は減ったし、割引もしてくれなかったが、このボートに乗っただけでも充分価値があると思った。お昼ごはんは、川べりで、野菜たっぷりのたくさんの種類のローカルの食事が出てきた。とてもおいしかった。

ここの観光客は日本人がやはり多いそうだ。韓国人は、こういう場所を選ばないとガイドが言っていた。好みの違いがこんなところにあらわれるのでしょうか。

2007・03・01（木）

夕日を追いかけて



やはりエアアジアに乗って、クアラルンプールへ戻る。

西に向けて飛行機に乗ると、いつまでもいつまでも夕日が沈まないということに気がついた。

なんでも経験しないと分からないものだ。

夕日が飛行機に当たって、とてもきれいだった。雲の切れ目に見える海に浮かぶ船を見ながら、なんだか幸せだった。（赤ちゃんが泣き出すまでは）



ボルネオの様子は、こちらのホームページから <http://www.tourismmalaysia.or.jp/region/borneo/index.html>

ウエンディーツアーは、こちらのホームページから <http://www.wendytour.com/malaysia/sightseeing/default.asp?group=bki>

ホテルの予約は、こちらのホームページから <http://www.hotelclub.net/>

パッケージツアーもいいが、少しだけどんなことが起こるか
わからない旅行もなかなか面白かった。くせになりそうだ。

2007・03・03（土）

シーフード料理店



中国正月のときの写真。あちこちの店が休みの中、ここはオープンしていたので、すごく大勢の家族連れが来ていた。

日本からのお客様があるときなどは、こういう店で食事をすることもある。店の奥にある生簀の中から、食材（魚、貝、えびなど）を選び、調理法も選び、みんなで食べる。何度か紹介したことがあるが、ここは初めてなので改めて。

よそのテーブルを眺めながら、おいしそうなものはどれだろうなあと、組み合わせを考える。しかし、値段と好みで言うと、どうしても同じようなものになってしまう。

別の日に、もうひとつほかの店に行ったら、生簀がリニューアルされて、きれいになっていた。老舗？もチェーン店に負けないぞという意気込みかもしれない。お店の維持も大変だ。

2007・03・04（日）

バタフライパークで

今日の日曜日は、バタフライパークで、小さなチャリティーバザー。

観光客相手にそう売れるものではない。たいていがバスツアーのひとつの場所としてきているのだから、荷物になるようなものは買わないだろう。本来のおみやげ物売り場の近くに、希望者が手作りの品を売る。

私は陶芸教室から、売れ残り品を、1リング～10リングでの処分市といったところ。2～3リングというのには結構魅力なのか見てくれる人もいる。20～30くらいは売れたが所詮金額はしれている。その20パーセントをチャリティーにするのだそうだ。

他のお店は売れてる様子もなかった。特に安い、変わったものでないと売れないと思う。商売というものは難しいものですね、材料費と手間賃すらも稼げない。

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-



蝶のいる場所では、デモンストレーション。陶芸からは、モザイクとシルクスクリーンTシャツづくりを。温度と湿度が高いため担当者は疲れたようだ。私は販売の係りなので涼しくラッキーでした。



とまっている蝶を撮ってみました。

ちなみに、入場料は大人15リング、カメラ1リング、ビデオ4リングが要ります。私はもう3回目です。

近くには、ラン園やパードパークがあって、KL市内観光ツアーには便利です。でも、入場料も馬鹿にならないですね。

ラン園は無料ですから、ぜひ覗きましょう。きれいですよ。

民族衣装



先日の休日のショッピングセンターでの催しの一コマ。なにやらにぎやかなので、覗いてみると、「Truely Asia 2007」の宣伝をかねてというか、マクドナルド25周年記念のパーティーをしていた。

マレーシアはたくさんの民族があるので、それぞれの特徴的な民族衣装を纏ったきれいな男女が、踊っていた。

裸の部族もいるが、先日コタキナバルに行っているの、なるほどと頷ける。(サバ州だけでも30を超える民族と80以上の方言があるという)

とても何族の衣装かというのは、はっきりと分からない。

たとえば、私たちが、マレーシアの民族衣装を作ろうということになったとしても、さてどんな形にしたらいいのだろうか

と思う。まあ少数民族の服は作らないとは思いますが。

日本の着物を作るときでも、振袖は未婚の人もものという決まりがあるし、それぞれの国、民族で、いろんな決まりがあるのだろう。

あれやこれやと考えると、衣装は作れないが、ある程度どんな人が着ている服なのかは作ってもらう人は知っているほうがいいと思う。

テレビのバカ殿さまの着物の生地で、振袖を作るというような変なことはいないようにしたいものだ。

2007・03・08 (木)

Babel (バベル)

日本ではゴールデンウィークに公開予定だそう。マレーシアではだいぶ長いことやっていたが、アカデミー賞で発表されるまでは、知らなかったので、あわてて見に行った。

映画のあらすじはこちら <http://babel.gyao.jp/>

とてもあらすじや感想などを書ける能力はない。

世の中には、どうしようもないことの積み重なりで、それに会う人と、出会わない人の差はいったいどこにあるのだろうかと思う。

どうしようもないことに出会わないで済むためには、いったい何が必要なのか？考えさせられる映画だ。

機会があればご覧ください。楽しい映画でないので、人生や社会のひずみ、生まれた国の違いなどを、考えたい人に向けていると思います。

バベルで取り上げられていた日本の姿も、都会の雑踏の中であごめく若者たちの様子でした。

大昔、「十戒」だったかの映画で、バベルの町の腐敗の様子が、今の日本の若者文化と重なって見えました。

歴史は繰り返すんですね。何度も何度も。

国際女性デー

3月8日は、国際女性デー（こくさいじょせいデー、IWD: 英語 International Women's Day）は、記念日の一つである。「国際婦人デー」、「国際女性の日」などとも呼ばれる。

女性解放とか、フェミニズムとか、特にこの分野は苦手意識がある。自分の知っている限りでは、女性が何かを社会に要求しているような印象があるので・・・もっと弱い女性の立場になってとか、思うのだが、どこか違うような気がしてなじめないでいる。

こういうことを書きっぱなしにすると、ずいぶん怒られるだろうなあ。

でもノーアイデアです。

何で、この日に気がついたかというと、先日出会ったマレー系の女性が、このために、ホテルで開催されているパーティーに出ているそう。

どういことをしたのか、機会があれば聞きたい。

もっと身近に感じられるといいのだが・・・

2007・03・11（日）

幸せの置物



あるゴルフ場だったかで、中国正月中に見たものだが、おめでたい置物ということなのではないでしょうか。ちなみにここは中国系の方が多いところですよ。材質はなんなのでしょう？ 白いのは、象牙ですか？ 何か仙人の住まいのような感じがします。



こちらは、いろんな色の石ですね。天国の様子でしょうか？
単に私の感想ですから、正しいことはわかりません。

世界で共通していますが、極楽や天国、神の国に行きたいと
思う心は、どこから出てくるのでしょうか？
なぜなのでしょうね。

2007・03・13 (火)

新聞休刊日

年に10回ほどの新聞休刊日が、異常な勢いでやってくるような気がしている。それだけ、毎日が早いということだろうか？

日本経済新聞は、こちらでは1ヶ月300リング（約1万円）もする。

こちらの新聞は、50リングくらいだから、すごい違いだ。

配達が時々2日に1回だったり、先日の日曜日が飛んでたり、このごろ少しいい加減になってきている。

人手不足か、面倒だからか・・・ちょっと連絡してみないと。

「チンギスハン」の続きが読めないと主人が文句を言っている。

2007・03・19（月）

毎日のくらし

1週間があつという間に過ぎている。仕事をしている人ならともかく、遊んで毎日を過ごしているようなものだから、ゆっくりすればいいのだが、生真面目に遊んでいる、という言い方が当てはまるかもしれない。

遊びとは言え、決めたことはやらねばならない。

ゴルフの約束をすれば、当然ながらほぼ一日が潰れる。洗濯して、クラブを洗って（ここが生真面目）、靴を洗い、私専用の必需品（これが多い、サポーター類、タオル、着替え類、バングナ類など）をそろえ、次回の準備をしておく。これがなかなか面倒だ。

これが週に2回で、運動は足りるが、日焼けか、暑さ負けか体がだるい。マッサージ器を使いすぎて、よけいに体が凝ったり・・・年齢的に、体をどのように維持するかも課題だ。

ゴルフは上達したいので、スコアカードは、ちゃんと自分なりにデータをとっている。分析するのも結構な時間がかかる。2002年10月に来たときからのスコアは、書き残してある。年平均スコアも、ハンディキャップもそれなりに上昇してきている。

時々、マンスリーやコンペにでて、きりっと引き締まったゴルフもしたいし・・・

新しいゴルフ場に行けば、自分のホームページに掲載しなければならぬし（誰も強制してないし、誰も気にかけていないのだが、自分で課したものは最後までやり遂げたい、マレーシアにいる限りは、ホームページの更新も欠かせないし）

陶芸教室に行けば、作品を作り、その写真を撮り、コメントを考えて、ブログに記録しておく。イベントがあれば、もちろん参加して、出かけて写真を撮り、やはりアップしなければ気がすまない。

先生との意思疎通には、英語は必要だが、それ以上に、釉薬の材料の名前を勉強しておかないと、理解できなくなる。

映画を見た。マレー人とゴルフのラウンドをした。ショッピングセンターがきれいになっていたら、リニューアルしていたと報告したいし・・・シンガポールへ行けば、その様子や旅行した時の様子も報告したい。

まるで、誰にも頼まれない体験手記を書く記者の気分だ。

すると、また目を皿のようにして、面白いことが落ちていないかと、アンテナを伸ばす・・・

そんな繰り返しで、何も無い日はのんびりしてたい???
こんなふう zu 遊んで疲れている私です。

先日、2日続きでゴルフだった。しかも、2箇所とも初めてのゴルフ場だったので、またアップしないとイケないなあ。

2007・03・21（水）

もし日本へ帰ると

NHK国際では、「定年後の生活」みたいな番組をよく放送する。

日本にいたら、いやでも高齢者をおおぜい目にするので、自分を鏡に映してみるような感じで、そんなに実年齢と離れた感じは懐かないと思う。

マレーシアはまだまだ若い人が多くて、ほとんどが自分より若い人なので、つい自分まで同じような気分であるときがある。

しかも、中高年でも、めんどくさがらずにちゃんと話してくれるので、違和感に気づきにくい。

単身で、海外で働く男性で、休日にはゴルフばかりしてきたような人は、日本へ帰ると、することがなく、何をしたらいいのかわからないのは、日本で暮らす男性以上だろう。

帰国シーズンなので、定年を引き伸ばしてきたような人が、帰るとなるとすごく心配になる。帰国して家族の中で居場所があるだろうか？とか。

引き続き勤める人は、海外ボケといわれていじめられないだろう？とか。

単身赴任の人は、どうしても奥さんとの心の距離も遠い。みんなどうしているだろう？

暖かい国で10年もいれば、日本の気候の変化は堪えるだろうなあ。体に気をつけてね。

ダンス

ダンスも習いだしてもうすぐ1年になる。週一度1時間だけでは、どうもうまく覚えられないのは当たり前。

練習にと、ダンスのできるような場所に行っても、まずその音楽が何で踊るのか分からないし、ステップの入り方もまだ分からない。

だから、練習にも行かないで、1週間前の習ったことを思い出すのが精一杯の状態が続いている。

知人の誘いで習い始めているので、やめられないし。

ダンスってなんだろう？

チェックしてみたら・・・

ダンスは人類と同様に古く、その発生について詳しいことは分かっていない。現代に残る世界各地のダンスや、古代遺跡・遺物などから、本能的な身体動作、求愛行為、呪術的行為などが初期のダンスではないかと考えられている。しかし確かな証拠はない。

ダンスの目的は、鑑賞を主たる目的としたものと、それ以外のものに大きく分けられる。前者は演者とそれを鑑賞する者から成り立つ、芸術行為としてのダンス全般を指す。後者は、娯楽・社交としてのダンスや、スポーツとしてのものなど、ダンスへの参加を主たる目的としたものや、宗教・呪術行為としてのダンスなどが含まれる。(wikipediaより)

芸術行為でもないし、社交を主としているのでもないし、娯楽といっても音楽に乗れないし、スポーツというには健康的でもない。

いやいやお付き合いをしているのかということ、そうでもない。なくてもいいが、あってもいいという感じ。

そういいながら、1年で多少のステップは覚えられたのだから、感謝しなければならない。

ルンバ ・ ジャイブ ・ リズム ・ チャチャチャ ・
ワルツ ・ ロックンロール

メモしてあるノートは手放せない。どれがどれか分からなくなるからです。一緒に通う知人の好みが優先しているので、基本どおりではないと思います。

よく先生に、メモを見ないで踊るように注意されるんですが。

本当は、背筋を伸ばし、姿勢よくしなければならなのだが、ステップが精一杯で、なかなかできない。

主人もうまく覚えられなくて、互いに覚えられない年になっているのを確認しながらです。

それでも継続していくことが、いいのかもしれない。夫婦で目と目を合わせるってなかなかないですものね。

2007・03・25（日）

ゴルフのない週末

ゴルフをしたり、出かけたり、ばたばたしていると、「まだ私も元気だ!」と思えるのだが、暑くて何をするのも億劫になってくると、ちょっと危険。

もし、主人の帰るのだけを待っている生活だとしたら・・・

・

絶対、ポケが早くやってくるに違いない。

それって南洋ポケというのかしら？それはちょっと違うね。

そういえば、ゴルフをしない人で、うつ病のような感じの人にあったことがある。あまり長くここにいると、ひょっとして・・・??ううっ・・・

でも私は大丈夫です。多分。

2007・03・29（木）

頭痛と枕

久しぶりに頭痛が続いた。頭が痛いというのは、ほんとに何もする気がしないものですね。もっとも、どこが痛くても集中するのは難しいですが。

風邪を引いている感じでもないし、肩が懲りすぎるようなこともしてないし・・・

何でかなあと考えていて、ふと気がついた。

枕なんですよ、きっと。



ちょうど首のまわりに巻くとよいくらいの小さな枕。きっとドライブなどで寝るときに、利用するといいのだろう。

年齢のせいかな、枕はいろいろと試してみた。綿やスポンジ、健康枕、プラスチックのなかみだったり、マットレス専門店の

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-

枕だったり・・・結局は私の場合、羽枕に落ち着く。でも、やはり沈みすぎるので、何かないかなと常に思っている。

しばらく、枕なしで、首にタオル程度を当てていたので、これはいいに違いないと買った。残り布で作ったらしく、柄はいろいろ、5リング（170円くらいだったのもある）だった。

結構いい気持ち、上向いてじ〜っと、ぐっする眠れる。背骨も伸びる感じがする。腕も上に伸ばせるし。

1日目、とてもいい気持ちだった。これで決まりだなあとと思う。

2日目、気持ちいいが、昼間も眠い。

3日目、目覚まし時計に気がつかないし、少し頭が痛い。

4日目以降 頭が痛い上に、やたらあくびが出て眠い。おかしい。

体はだるいし、頭は痛い、あくびは出るわ、その後、目の奥がどんどん痛くなってきて、このままだんだん光が失われて・・・など余計に怖いことを考えるようになる始末だ。

どうやら、あの枕が首の血管を圧迫していたのではないかと、自分で結論を出した。

早速、就寝時、羽枕に変えたら、いかに寝返りが多いかと思う。寝返りをするから、血管を圧迫しないのだと気がついた。

案の定、頭痛は少し残ったが、全然楽になっている。その後数日は、頭痛はあったが今はほとんどなくなった。

これはとても怖いことですよね。中高年で、頭の血管の血流

が少なくなるということは。危機一髪かもしれないなかつたと思う。

話は長くなるが、

「電気おじさん？」（中国系シンガポール人）みたいな人に、診察してもらう機会があった。指をあてると、感電したようにびりびりくる。驚くほど、痛いほどだ。

もう2、3年更年期障害があるけれど、もう少しだということだった。

頭が痛いというと、胸の血流が悪くて、胸と頭は直結しているということらしい。頭の血流を改善する漢方薬・イチョウの葉の処方箋を貰った。

しかし、胸の血流の悪さが、頭につながっているとはねえ。

西洋医学よりは東洋医学か？

もっとひどいことになったら、どちらを選ぶべきか？元気づちで考えておくほうがいいかも。

2007・04・03 (火)

レパートリー・オブ・仏教聖歌

仏教の賛美歌？のコンサートのチケットがあるのだけど・
・と言われて、2枚買った。

金曜日の夜8時から、マレーシアツーリズムセンターのホールであるという。

何のことが分からないけど、仏教に賛美歌みたいなのがあったけ？？

そういえば幼稚園のころに、甘茶をかけるときとか、歌ったような気がするなあと思い出した。

結局どんな催しなのか把握せず、KLの街に夜に出かけられるので喜んで出かけた。

場所も初めてだが、うまく時間内に到着。

なるほど、観光客用のマレーダンスとかが見れる場所のようだ。

夜のライトアップはとてもきれい。

お客が入ると、マレー衣装に身を包んだ若者が、太鼓を打ち鳴らして知らせている。

始めてマレーシアに来る人なら、素敵な場所かもしれない。



マレーシアの産品が展示してあったりで、奥のほうへ行くと舞台があった。

入場券を見せて入る。8時過ぎてもそんなに席は埋まっていない。

ああ、やっぱりマレーシア時間だ。

30分近く過ぎたころ、ようやく司会者がオープニングを告げた。

スピリチュアル・アドバイザー（袈裟を来たスリランカのお坊さん）やら、パトロン（中国系）・・・どうやら建物を建てるための寄付をお願いしますと言うことらしい。数人の話があって後、子どもたちからの音楽が始まった。

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-

その後青年、熟年などが一生懸命に、歌を披露してくれた。
どうやら、文化祭か発表会の様相。



でも、みんなボランティアでやっているのだろう。
ほほえましい時間を過ごすことができた。練習も大変だった
でしょうね。

イスラム教の国で、仏教もいろいろな形で頑張っている。

Kinrara Metta Buddhist Society

2007・04・06 (金)

アニカのシャツ



アニカ・ソレンスタム (女子プロゴルファー) のブランドのシャツを買った。145リングだから約5000円ほど。

しかし、メイドイン・タイランドとなっている。

メーカーは、カッターアンドバックらしい。

日本のホームページでみると、同じものではないが、9500円ほどの値段となっている。

多分、マレーシアのはアメリカサイズなのか、いつもはXLくらいでもいいのに、Mサイズでぴったり。日本で買うより、体にぴったりして、しかも、Mサイズと言うのがうれしい。(昨年、XLサイズのシャツを買ってしまって、どうも大きすぎてあまりお気に入りじゃなかった)

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-

あまり最近は活躍していないみたいだけど、やはりナンバーワンの風格はあるよね？

アニカを目指して？シンプルゴルフで、うまくなりたいね。

ところで、このブランドは、デサントのブランドの一部らしい。

マンシングウエアは、大好き（中高年向きみたい）だけど値段が高い。でも長持ちする。

値段は、やはり素材からの影響だろうか？

確かに、熱帯地域ではUVカット素材じゃないと、日に焼けるのがきつい。シャツの素材で、日焼けが全然違う。疲れも違うように思う。

値段、デザイン、素材、着心地・・・どの辺で妥協するかです。

半袖ゴルフシャツは、マレーシアでは必需品ですから。

2007・04・09（月）

M-style

ツーリズムマレーシアの日本語ウェブマガジンがある、M-Style.

マレーシアの旬な情報や旅の魅力をお届けする月刊ウェブ・マガジン“M-style”と、銘打たれている。

それを見ていたら、どこかに行きたくなりましたね。

行こうと思いつながら水族館はまだ行ってないし、こちらのオーケストラも聴きに行ってない。

一度行ってみたいですね。

水族館はこちら

<http://www.klaquaria.com/index.html>

オーケストラはこちら

<http://www.malaysianphilharmonic.com/index.php>

もうすぐ親戚が来る予定になってるので、一度行ってみましようか。

2007・04・10 (火)

花火モード



土曜日の花火。何のイベントかわからないが、近くで打ちあがったので、デジカメを花火モードにして。案外簡単にうまく映るもんですね。

日本のように凝った花火じゃないけれど。



今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-

ああい天気



昼下がりのひと時。ほんとはすごく暑いんですよ。

2007・04・14（土）

バタフライパークなのに

今日はバタフライパーク(蝶々の公園)へ。

開園時間をインターネットで確かめて行った。9時から開園で、入場料15リング、カメラ持込は1リング、見学時間は20分と書いてある。

「ええっ～、15リングも払って20分じゃ勿体」と思っていたが、雨の水か撒いた水か分からないが、あちこち水浸し。

「あつ”～い!”やはり20分程度かもしれない。

とりあえず湿度が高い。



蝶々だけじゃ間が持たないらしく、鯉、亀、ウサギなどが飼育されてる。ウサギ暑くてかわいそうな感じ。

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-

その上、蝶々があまりやってこない。何でだろう？

ひょっとして、虫除けスプレーをつけていたからかもしれない。

すぐに、併設の資料館を見て回る。動いている蝶々は、写真が全然撮れないけど、標本の蝶々は分かりやすい。



その中に、さそりも。

よく艶のある状態を保ってるなあ・・・てっきり、標本だと思ったら、生きてる～。背中の白いのは、さそりの赤ちゃんなんだって。

今日一番の驚き！

2007・04・16（月）

アクアリア（Aquaria）KLCC



この人は水族館の水槽を掃除している人か、パフォーマンス用のダイバーか。

サメやたくさんの魚と一緒に水槽で掃除機のようなもので掃除をしている人もいた。この人は、写真写りがいいように、ポーズしてくれました。



暗い室内で泳ぐ魚を写真に撮るのはとても難しい。たまたま海亀が泳いで来てくれたので、まあまあのシャッターチャンス。

他は全然ダメだった。

薄暗いところで、動いているものを撮るのは、難しいものです。

アクアリアは、KLCCの近くのコンベンションセンターに併設されている。KLCCからもクーラーの効いた地下道を歩いていくことが出来る。最後の100メートルほどは、駐車場の中を歩かなきゃならないですが・・・

歩いていくとやたら人が多いので、こんなに人が多くちゃ、ゆっくりと魚を見られないかと心配したが、どうやら、コンベンションセンターで「PCフェア」をしていたようで、ほんとにたくさんの人たちだった。

ある意味、パソコンの人気の高さに改めて驚く。



水族館の入場料は、外国人は38リング、マレーシア人は28リング。結構なお値段だが、入場者はわりあい多かった。学校の遠足のような団体もあった。

入場券を買ったときに、CDを1枚くれた。

家のパソコンで見てみると、海亀の保護についてや、さんご礁、マングローブの保護などについての内容だった。海の環境保全の勉強にもなる。

パンフレットを貰うより、分かりやすいしなかなかいいアイデアだと思う。

そういうものの、マレーシアのことです、施設が新しいうちに行かれるほうがいいかもしれませんね。

一日乗り放題4リング



KLCCに行くことになった。日曜日の昼ごろに、タクシーを捕まえるのは難しいだろうなぁと思いながら・・・

タクシーが来た!と思ったら、前の人に取りられちゃった。すぐに綺麗なバスがやってきた。まあKL中央駅ならタクシーはあるだろうからととりあえず乗ることにした。2リングだとか、4リングだとか言っている。分からないけど、4リング払ったら、一日乗り放題チケットをくれて、「これなら1リングはお得だよ」とか何とか言っているような感じ。

バスは綺麗だし、こんなシステムは前からあったかなと考えていたら、今年は50周年で、マレーシアに観光客を呼ぶために綺麗にしたのかもしれない。確かに街では簡単に乗り降りできるので安い。しかも、タクシーは混雑するし、近場は乗せてくれないだろうし・・・なかなかいいアイデアだ。まあこの

国でもそうだが。

乗車したところは郊外なので、日曜で道は空いてるし、お客も少ない。すごいぶっ飛びでバスは走っていく。

しかし、座席はプラスチック。確かに清潔でいいのだが、座っていても滑りそうになるし、安定感の悪いことこの上ない。危ないなあ・・・でも、普通の座席ならすぐに汚くなるし、仕方がないのかもしれない。

でも、どうせ”バスに乗るようなレベルの人たちなんだから”というような考え方も見え隠れしているような・・・

結局、KLCCへ行くのに、KL中央駅でLRTに乗らず、お得なつもりの4リングで、くそ暑い場所で2度も乗換えをして、ようやく到着。そして、時間に遅れた。お得なのか、お得でないのかよくわからないことをしてしまった。

でも、うれしいことがある。どこで乗り換えるかわからないうでいたら、インド系の親子連れが、自分たちもKLCCの「PCフェア」に行くから、一緒についてくるといいよと言ってくれた。ほんとに親切にしてもらった。

タクシーがつかまっていたら、経験できないことだった。ありがとう。

2007・04・17 (火)

MPO



MPOと言うのは、マレーシア・フィルハーモニー・オーケストラの略です。ツインタワーの正面玄関の上にある。とても分かりやすく、便利だ。

インターネットの予約も出来るし、あるいは直接階段横のボックスオフィスだったかに行けば予約できる。20リングから買うことが出来る。

こちらから。 <http://www.malaysianphilharmonic.com/index.php>



もちろん写真は禁止です。休憩中にすこしだけ。

今回は、「オーボエ・コンサート」で、まるでCDのような臨場感？イヤ、さかさまです。ホールは広すぎず、素晴らしかった。

休憩中には、ケーキや飲み物（アルコールを含む）を購入することも出来る。

音楽好きには、リーズナブルで、KLCCのショッピングセンターなどの場所とまるで違う空間を体験できるのはうれしい。

2007・04・18（水）

プレイランド



2歳ほどの孫を連れて行くところはそんなにはない。自分から遊んでくれるようなところで、暑くないような・・・

で、タイムズスクエアの屋内遊園地に行くことにした。でも開園は12時からだとか・・・そんなあ、子供の昼寝の時間になっちゃうじゃないですか。

3歳以下の子どもは無料だが、付き添いの大人は、25リンギ要る。乗り物付だから、日本からみると割安になるかもしれないが、付き添いも入場料が要るのはねえ、仕方がない。

3歳以下の子どもが遊べるのは、このプレイランドと、4つほどの簡単な乗り物だけ。結局1時間ほどで退園。

付き添いのおばあさん（私）は、元を取ろうとして、ジェットコースターに乗った。欲をかいたらダメだ。宙返りみたいなのもあって、その後ずっと胃が気持ち悪いまま。ああやっぱり乗るんじゃなかったと反省しきり。

平日の開園すぐの遊園地は、ひっそりして寂しいくらい。少し薄暗いし、結構疲れる感じがする。

タイムズスクエア自体が、いまだにテナントが埋まっていなくて、ひとつとながら心配になる。夜になって人が集まるのならいいのだが・・・

2007・04・22（日）

夜、廊下に貼り付いていた



広げた羽が、15センチとはいかないけれど、13センチくらいはあったように思う。やはり、温かい国のは大きい。

蛾の仲間でしょうか。蝶の仲間でしょうか？

風化



普段は目に入らない風景も、ゆとりの時間があると全然風景が違って見える。

石の風化したような後に、木が生えてきている。いつの頃からなんだろう。

石や岩が動く時間と、人間が生きる時間では、全然違うことにふと気がつく。

土地が陥没し、海になり、山になり、風化して、植物が生え
.....地球も生きているんだ。

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-

2007・04・25 (水)

これも蓮の花？



2007・04・26（木）

新しいアゴン



今日は新しい王様の戴冠式だそうだ。それで、政府関係と学校はお休みということらしい。民間の会社は営業しているところも多いが、道は空いていた。

珍しく朝から雨。イスタナネガラ（王宮）に集まる招待客の車は、雨の中だった。テレビでしか知ることができないが、朝のニュースは、あいにくゆっくりと見るができなかったので、夜のタミル（インド系）のニュースの一場面から。

茶色の色に変わるめがねだろうか？少しサングラスをしているように見えるんだけど、目が弱いのかな？でも、ゴルフもなさるし・・・

でも王様に、そのめがねはふさわしくくないですよ、と進言できる？

いつが本当の休日なの？

日系の企業でも、当地の国民の休日を主に採用して年末にアレンジしているところが多いだろう。

しかし、日本の休みと同じように、正月やゴールデンウィークをとっているところもあるようだ。日系の学校が休みになると、一時帰国したり、旅行に行ったりと、またそれなりに予定も入るらしい。

でも、急に戴冠式とかで政府系が休みになると、同じように急にお休みになる企業もある。製造業か否かで分かれることもあるのだろう。

しかも、中国系の多い場所とかマレー系の多い場所とかで、現地のお店の休みが違うことも多い。

上海の駐在員が言ったことは、あまり祝日のような休みはないが、旧正月と5月と10月1週間ずつくらい休みがあるそうだ。そんな影響か、中国系のお店は今日も休みのところがある。

5月1日が、レイバーデイとウエサックデイ（お釈迦さんの誕生日）が重なっていたからだろうか？



世界中を駆け巡る人が多い現代、誰がどんな休日をとっているかを知るのは、なかなか難しいですね。

キャディーの日当

ゴルフでキャディーをつけると（ところによっては、キャディーをつけなければならない）、キャディー一人当たり、30～40リングとられる。

バギー代1台あたりのほうが、やや高い。

車や機械は償却代がかかるから高いが、人間なら、代わりはいくらでもいるって？！

それが現実かもしれない。

タイ人のキャディーに1ラウンドしたら、いくら会社から貰うかと尋ねたところ、1日あたり12リングだという。2ラウ

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-

ンドしても14リングだとか・・・

思わず絶句してしまった。

お客のないときは、草取りとかするらしい。昼食は会社から支給だが、朝と晩は自費という。どうせ寮のようなところにいるのだろうけど、食事代を引いたらどれほど残るのだろう？

12リング×30日=360リング

これでどうやって暮らすのか？どうやって仕送りするのだろう？

結局は、お客のチップが頼りということになる。
遊ばせて貰っている自分が、恥ずかしくなるほどだ。

つくづく自分の立場に感謝しなければならないと思う。
少しショックだった。

2007・05・05（土）

いつも綺麗な庭



プールの付いているようなコンドミニアムの庭は、だいたいどこでも庭の植木や花の手入れは良くされている。

もちろん管理費を払っているのだろうから、当たり前といえば当たり前だが・・・

日本の気候のよいときにする庭の手入れと違って、真夏での庭の手入れは大変だ。

朝の10時ごろともなると、それはもう暑くて仕方がないが、仕事とはいえ、いつも手入れしているのは、インド系の人だ。

暑くはないことはないはずだが、帽子もかぶらずに、一生懸命雑草を抜いたりしている。

でも、道を掃除している人とは違うようなので、きっと請負

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-

の植木屋さんなんだろう。

先日のキャディーのことを思い出して、日当はいくらなんだろうか？とか、

こういう仕事しかないのだろうか？とか、

ずっと日に焼けてこんなに色が黒くなったのだろうか？とか、

次々に思い浮かぶが、確かめるすべもない。

それを横目で見ながら、私は日傘をさして、私は出かけるのだ。

いつも綺麗にしてくれて、ありがとう。

そう言ってあげられるといいのだが。

2007・05・06（日）

新開店



近くのショッピングセンターのそばに、「ワンワールドホテル」が建設中なのだが、それとショッピングセンターをつなぐ通路はもう完成している。

そんなところを、ぶらりとしていると、通路沿いにできたお店がいくつかあった。

なんと！きれいな陶芸のお店ではないですか。

手作りの本物っぽい感じの品もたくさんある。いや、小さい店だから多くはないが、センスよく並べている。まだ本格稼働とはいかないらしく、両親を手伝うような女の子二人の子どもたちもいた。

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-



直接写真は撮れないので、上からそっと・・・

いつまでもいい店でいてください。

(いい店だなあと思っていると、だんだん中国風になりすぎてしまっ、回数を重ねる毎にイヤになる店が多いので)

店を続けていくのは、大変だなあと思う。頑張ってね。

2007・05・08 (火)

soho?



自動車道路から見える川沿いのレストランを覗いてみる。先日の陶器店のホンの近くにあった。(陶器店はだんだん品物が多くなってくると、どこにでもある製品が多くを占めるようになってきていた、こりゃあかん。)

SOHOという名のお店は、中国料理店だった。ポット入りのお茶は6リング。

なぜか、きゅうりとにんじんのスティックと春巻きのかわのようなものを細巻きにして油で揚げたものを持ってきた。(クリスピースナックというらしい) おつまみというところか、注文してないのに・・・4リングだった。

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-

モダンな感じに仕上げた中国料理店だった。手打ち麺をこしらえているのが、客席から見えるようにできている。でも、どういうコンセプトか理解できなかった。

四川坦坦麺が12リングで、結局25.3リング。ちょっと様子を見に入ったにしては高くついてしまった。なんか無駄遣いした感じが残る。

味は、まあまあかな。

2007・05・10（木）

部屋探し

日本でマンションや部屋探しというと、不動産会社とかに連絡すれば誰か営業の人が接客に当たってくれると思うのだが・

・ ・

日本では家探しとかをした経験が少ないので、よくは分からないが。

無料の雑誌もあるし、もちろん最近はインターネットが早いのだろう。

こちらの人に尋ねると、新聞に載っている広告を出している人に電話するんだという。その人は誰？

エージェントだと。意味を調べてみたら代理人、取次ぎ人、仲介人と書かれている。

インターネットでもきっとあるに違いないと調べてみることにする。

確かにあった。しかしどうも変だ。

場所、価格、などを入力したら、物件が登録順に出てくるのだが、一つずつ連絡先が違う。

やはり、各々の仲介人が、いくつか物件を持っていて、ひとりずつの持っている物件を表示してある。

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-

ということは、同じマンションを見たいと思っても、仲介者が違うと一度で見られないということになる。めんどくさいね。

ようやく部屋を見れることになったら、エージェントがオーナーに連絡し、鍵を持ってきてもらうということになる。見学はオーナーが見ているときに見ることになるので、落ち着かないったらない。

エージェントの持っている物件をちょっと見てみたら、たくさん扱ってる人と少ない人とある。しかも、値段の安いだけの人や、高いだけの人や、いろいろ持っている人や・・・なかなか興味深い。結構、インターネットで遊べる。

今より安くてきれいなところがあったら、移りたいなあ。



2007・05・15（火）

決まっちゃった

あつという間に決まっちゃった。

インターネットで探しました。

<http://www.iproperty.com.my/property/rental.asp>

値段と場所を挿入して、GO!

いくつかのマンションの名前を確認のために、まず下調べとして、金曜日にタクシーに乗って雰囲気調べに行きました。

10時過ぎから、あちこちのコンドミニウムをガードハウスの人をお願いして、プールとかお庭の見学。まあおばさんだから許してくれたのかしら？（本当は入れないのですよ、悪い人に見えなかったから？許されたのか）

インターネットで調べてあるネゴシエーター（営業マンみたいな人）に電話するか、エージェント（代理店）に出向くか考えながら近所の店屋に入って昼ご飯。

その後、近くのエージェントに入って物件ありますか？といきなり尋ねる。

女性が呼び出されて、ひとつ部屋を見学できた。デザイナーズユニットとか言ってたけど、1000スクエアフィートは狭いのでやめる。広さの割りに高いし・・・狭さを鏡で補ってある。

それから、近くのショッピングセンターまで歩けるか見た

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-

ら、たったの5～10分、下り坂で簡単にきれいな道で歩けた。信号もあったし。それで、ほぼ目星のコンドミニアムにすることに決めて、家に帰る。

帰ってから、そのコンドミニアムの物件をたくさん持っているネゴシエーターに電話。

翌日の4時に会うことに決定。

当日は、4件目で決定。6月に移動する予定になりました。

旦那も決断早いね。どうでもいいのかも。もっと安いほうでも良かったよというけど・・・1400スクエアフィートです。今住んでいるところと同じ賃貸料です。

ただ、この周辺のコンドは、高級のひとつを除いて、バスタブ付きはないのだそうです。

まあいいや、ジャグジープールで我慢できるかな？コンドのプールのそばに付いているんですけどね～

こちらのシステムでは、ネゴシエーターが物件を持っているのです。得意な場所とかがあるようなので、希望の場所が決まっていれば、調べて電話するのが早道かもしれません。

面白い数日を過ごすことができました。

でもこれからまたいろんな出来事がやってくるでしょうが、それも新しい体験です。まだシャワーしかない生活はしていません。どんなんだろうね。

2007・05・20（日）

食器を下げる仕事は

シンガポールにたまに用事で出かける。

マレーシアの、ほぼ倍ほどの物価。当然給料も高いのだろうから、マレーシアドルとシンガポールドルは同じような感覚かもしれない。

でも、スープ麺が4ドルで同じだとしても、実際にはマレーシアの倍の値段なので、すごく高いような気がしてしまう。違う料理ならしかたがないが、同じような料理で、倍値段が違うとなんだか落ち着かない。

食べ方などは同じシステムなので、食器を下げる専門の人がいる。食べっぱなしが普通で、マクドナルドでも自分で食器を下げている人はあまり見かけない。

で、シンガポールでは、それが老人の仕事になっているようだ。膝や腰を痛そうにしている人に下げてもらうのは悪い気がするが、仕事がないと困るのも確かだ。

マレーシアでは、全体に若い人が多いので、若い女の人の仕事あるいは海外からの出稼ぎの男の人が多い。（ネパール、ミャンマーとか・・・）

ただでさえ、いろんな人種がいる上に、海外からの労働力を受け入れているのでどこからの人がよく分からない。結局は就いている仕事によって、それとなくどこからの人が推測するだ

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-

けだ。

シンガポールは小さな島なので、場所がない。一戸建てなどは夢の夢。コンドミニアムの賃貸も上がってるらしい。車も持つのも難しいし・・・

海外からとても労働力を受け入れられないのだろう。

もし私が日本で、食器を下げる仕事に雇ってもらえたとしても、できるだろうか。

2007・05・24（木）

通り道

同じ場所に行くにしても、タクシーの運転手によって、利用する道が違うんだね。

いつも同じ道を、混んでいるときも、空いているときも同じ道を運転する人。

混んでいるときは、ちょっとでも前に行こうと、わき道に入る人。

すごいスピードでぶっ飛ばす運転手。

信号の待ち時間のたびに、新聞を広げる運転手。

運転にもいろいろな癖があるんですね。お客としては、いや私としては、だいたい同じ時間内に、いろんな道を通って、しかも安全で・・・

そんなことあるわけない？

今日の方は、通ったこともないような抜け道を一生懸命運転していたが、決して早く着いたというわけでもない。かえってガソリン無駄かもしれない。

いくら慣れてるとはいえ、お客を乗せているときの信号待ちに、新聞を読むのは止めて欲しい！！

初めて通る道で見かけたモスクを車内から。

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-



2007・05・25 (金)

SUMOULAH (すもう ラ)

2. 3日前、テレビでマレーシアの映画の紹介をしていたことがあった。

そのタイトルは、「SUMOULAH」。すもうだよ！みたいな感じかな。



写真はSUMOULAHホームページより

太くてあまりさえないマレー人男性が、ちょうど仕事を首になり、母親にもしっかりしろと怒られている。

日本人が経営するおすし屋の主人は昔相撲をやっていて、マレーシアで行われる「相撲大会」に参加したいが、人数が足りない。早食いに無料で挑戦できるというアイデアで、人集めをしていて、おなかをすかしていた彼がうまく引っかかる。

主人の名前は、ホンダ、その娘の名前はマレー人との混血でシティー。

彼女を好きになったり、ライバルとけんかしたり、店が潰れ

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-

そうだったり、日本の福岡に修業に行ったり、銭湯シーンなどもあったり・・・内容は日本がてんこ盛り。バラエティーに富んでいるというのか？

「のこった」という言葉が、最後まで頑張るという精神を表しているというような筋だったと思う。

マレーシアのスポ根映画とでも言うのだろうか。

最後は惜しくも負けたが、「来年は勝つよ」と言う感じで終わったので、妙にすがすがしい感じがした。

マレーシア語で時々、日本語が入って（日本人の俳優じゃないのです）、英語の字幕つきの映画でした。日本のかたが準監督だとか聞いたことがあります。

制作費が出ているのでしょう。マッサージ機器の会社と、携帯電話関係の会社の宣伝がやたら多いのには（筋書きにまで入られてある）ちょっとなあという気がしました。

おすもお子様寿司で、ちょっと寂しい気がしましたが、そういうネタのほうがちらではうけるのでしょうかね。それに、わさびの使いようも尋常じゃないですよ。

最後のほうの決勝戦は、なんだかとても力が入ってしまいました。

昔のどこやらのコミックの筋書きのような気もしました。頑張って～

2007・05・30（水）

家のオーナーは29歳



今度家を借りる予定になっているオーナーは、なんと独身の29歳。結構かっこいい。

今のオーナーは、50歳代だから、生活に必要なものは、なんとなく理解してくれるが、若い人の場合、力のいれどころが多少違うなと思うこともある。

しかし、若い人がいいと思って購入している家に一度住んで経験してみるのもいい。台所のシンクがおもちゃみたいなのだが、これを自分で手を入れるかどうかを考え中だ。

まずは、とりあえずは、住んでみよう！ご飯が作れなかったら、外で食べればいい・・・そんな風にゆったりと考えられる

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-

ようになってきた。

これをマレーシア化しつつあるというのかな？

4人兄弟の次男坊だそうだ。自分で買った家を人に貸すというのは、なかなかしんどいところがあるのではないだろうか。

借り手はいくらでも要望するし、資金はそんなにない。貸さないと返済できないだろうし・・・

それでも家を買って人に貸す。

息子にもそんな気概が欲しいなと思って見たり・・・

きっと親や親戚でそのようにして儲けてきた人があるのだろう。えらいねえ。

マレーシアは、どんどん建物が建ってきている。勝負は早くしないと・・・

2007・05・31（木）

木の涙？



道端に刈り取られた枝が積み上げられていた。

なんと言うこともない風景なのに、樹液の赤さにぎよつとした。

まるで血が出て痛いように・・・泣いているのだろうか？

そんな風を感じるなんて、少し変かな？

パイレーツオブカリビアン

水曜日は、サービスデーなのか入場料が少し安くなる日で、7リング・250円ほどで見られるので、英語の映画でマレー語と中国語の字幕つきを見た。

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-



シリーズ3部作の完結編だそうだ。

パイレーツオブカリビアン・ワールドエンドより

言葉はたいして分からなくても、映画というのはDVDに比べてやはり臨場感があるので、映画ならではの楽しみが味わえた。

3時間ほど、世界の果てまで一緒に行ったような気になった。

だんだん映画に病みつきのようになってきたかな。

これを日本語訳で見たら、もっと面白くて、内容が深いのだろうねえ。

2007・06・02（土）

サイバー大学は日本では有名なんですか？

「探検ロマン・世界遺産」のNHK国際のテレビを見ていたら、エジプトの世界遺産の説明に「吉村作治」さんが出演しておられて、その肩書きに「サイバー大学学長」とあった。

初めて聞いたので、メモして（すぐ忘れるので）後でインターネットで調べてみたら、なんと素晴らしい大学ではないか！

サイバー大学は今年の4月に開校したばかりらしい。今は、IT総合学部と世界遺産学部の二つだが、将来的には増えていくらしいし、たとえ辺鄙な場所でも、海外でも受講できるという。

向学心に燃えているひとには、インターネット環境さえあれば、勉強できるのだからこの上ない。

内容もワールドワイドな感じで、質問にもすぐにメールで答えてもらえそうで、家にいながら新しいことが学べるらしい。

「私ももう少し若かったらなあ」と言い訳しているのは、若くてもしなかったということですよ。

2007・06・07（木）

たいして荷物などないはずなのに



家具付きの家からの引越しの荷物詰めでは、たいして荷物などないと思っていたのに。

壁にかかっている絵や、飾りに買ったアートフラワー、植木、作った陶器類・・・

服などはできるだけ処分してあるつもりだし、見渡してもそんなに品物はないと思っていたのに、詰め込んであった日本から持ってきた本やら（もういい加減にいらないだろうと思うけど、なかなか本は捨てられない）

ちょっと便利だと思ってかけてある金属製の網類もいくつも becoming.

人の生活って結構いろんなもので成り立っているんですね。

今までの間に、いろんな引越ししたけど（数えたら9回もだった）、生活の場所や年齢によっても違うし、住まいの広さも違う、そして、物に対する考え方も違ってくる。

それらを詰める前には、洗っておかねばならないし、おまけに体の調子がいまいちピシッとならないし・・・

2007・06・10（日）

いいこと・よくないこと・ちょっとずつ

いいこと

*タクシーでお金が足りずまけてくれたこと。

雨が降りかけたので、あわててタクシーに乗ったが、小銭がほとんどない。お金がないので、あるだけ走ってといたら、「ノープロブレム」といって、乗せてくれた。めちゃくちゃうれしい。ありがとう！

*アブドゥラ首相が再婚したこと

首相就任後に奥さんをなくしてかわいそうな気がしていたが、今まで身の回りの仕事をしていてくれた女性（奥さんの弟の別れた元奥さん、夫人が生存のときからその仕事をしてきた）。

いろんなことがよく分かっている人なので、よかったと思う。お幸せに。

*30年ぶりの知人が旅行のついでに尋ねてきてくれる予定。

*引越しできること

*娘から主人に父の日プレゼントが届いたこと

あまりよくないこと

*鳥インフルエンザの鳥が見つかったこと

*食事会の予定があるのに、私のおなかが痛いこと

*引越しの準備がなかなかこと

*元気にいてくれている父に、父の日プレゼントをしないで
もいいのかと思っている自分

2007・06・12 (火)

入居の仕方

日本のマンションなどは、最初から内装なども細かく決めて、入居者が集まって話し合いを持ったり、管理会社の紹介とかあったりとか・・・

要するに引越しの時点では、よその部屋で内装の工事しているというようなことはないと思う。

ところがマレーシアは、大まかなレイアウトはあるが、あまりなにもない部屋の空間を買うというか。後はオーナーの資金力とセンス次第という買い方。ですからそれによって家賃も違い、雰囲気もまるで違ってくるのでしょう。

入居もてんでばらばら。入れる人からどうぞ！という感じですか。

ですから、あちこち工事中だし、かたや、プールに入って寛いでいる人や・・・入居者募集の垂れ幕があちこちに（オーナーが貸すために買った物件）ぶら下がっている。

エレベーターも、工事中の状態で、ベニヤだらけ、それにプロパンガス申し込みの携帯番号や、衛星放送申し込みの携帯番号が乱暴に書かれている。

ガードマンも新人で訊いても分からないし、どこが自分の駐車場かペンキが何重にもスプレーされて分からないし、いろんな出来事があり、何やかやと学習しながら、自分も住まいも成

長していくのでしょうか？

マネージメントの横に、カスタマーサービスの部屋があったのは、救いだ。

手の届かないところに、セメントのかけらやごみが落ちている、部屋から気になるし、どうしたものでしょうかね？

普通ならとび職の人が掃除をしないとしてくれなきゃだめですよ
ねえ～

そういう、隅々の仕上げとか掃除とかが、なぜかできてないんですよね、一般的に。

考え出すと、民族性や宗教とか、歴史とか差別とか、出稼ぎ問題、教育問題・・・考えが底なし沼になっていくような感じ
です。

ヘナ

パティックの布をたくさん買いに、KL市内まで出かけた。MYDIN（メイディン）というお店は、安さのせいかローカルの人に人気がある。私から見ればわからないような生活必需品がたくさんあるのだろう。

その中に、「ヘナ」というメーカーか商品名か知らないが、有名な毛染め粉がある。写真の後のほうに写っている分ですね。それがまた安く、1回分50円前後で利用できる（こちらに人にしたら安くはないかもしれない）。

私は使ったことはないのですが、どれくらい効くかは説明できません。すみません。



写真の前にある箱、クッキーの材料とかではありません。ヘナと同じメーカーの手に模様を描くものです。

何のために模様をかくか？結婚式や断食明けのお祭りやその他の祝い時に、女性の手に模様をかくのです。1ヶ月ぐらい色が持つのかな。

おしゃれのひとつなのでしょう。そういう染め粉が売られていたのをはじめてみたので写真に収めました。

パキスタン製、ハラルで、18リングでした。何本くらい入っているのでしょうか。

2007・06・21（木）

引越してから1週間

14日に引越しをして、1週間が過ぎました。

引越しは業者がするといっても、どこに仕舞うかは自分ですから、やはり疲れますね。

今日、インターネットが通じました。

1週間のうちに数え切れないほどの驚きがありましたが、忘れず報告できたらと思います。

テナントが入っていないような、新しい住まいは初めてですから、良くも悪くもいろんなことがありました。

今日は、ベランダからの眺めだけを。



どこからも見られていないので、カーテンは閉めずにお

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-

けます。

前の家に引っ越した時点では（2年半前）、何もなかったような場所にどんどんショッピングセンターが立ち、ずいぶん賑やかになっています。

開発の早さを実感できます。日本列島改造のころはこんなだったのかなあと思います。

自然を破壊していくように思いますが、それは経験した人がわかることで、住民は開発を喜んでいるのに違いありません。自分たちがそうだったように・・・

2007・06・23（土）

トイレのフラッシュ



何をしているところでしょうか？

新築の家に引っ越したのはいいけれど、トイレのフラッシュがうまく行かない。トイレは合計3つもある。

トイレとシャワー室がひとつになっているので、部屋の数ほどトイレがある。その3つともがうまく機能しないのだ。

カスタマーサービスというところに連絡したら、すぐに来てくれた。どうも他の部屋もそのようになっているようだ。

彼はインドネシア人で、修理に廻っているらしい。彼によると、はじめから組み立て方が間違っているらしく、全部分解し

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-

てやり直しているらしい。

ここは住み込み女中用のトイレなので、使わないので、掃除用具入れと化しているが、修理はしてもらわないといけないので・・・

毎日毎日、トイレの分解掃除の仕事をしているのでしょうか。

トイレの製品の名称は「アメリカンスタンダード」となっているが、陶器の部分はタイランド、さて組み立てはどこでしたんでしょうね。

こういうものが出荷されていることに驚きを覚えます。

また最新のコンドミニアムとしては、まったく情けないことだ。(やはり価格を抑えるためでしょう。高級地域のコンドミニアムは日本製が入っていますから)

水の出方はすごくゆるかったが、彼が調整してくれて、今ではトイレを流したら、台所で水が使えないというようなことはなくなった。あちこちで一度に水が使えるということは、本当にありがたいことだ。

不便になって初めて気がつくことばかり。

何でも、修理依頼をすればいいんだと、今頃になって気がつく次第です。



それならもうひとつお願いします。ウォシュレットの代わりになる器具を取り付けてもらうことにする。自分でつけようと思ったが、口が合わず、そのままになっていた。

水道の口を二股にして取り付けてもらう。器具も彼が買ってきてくれた。自分で買いに行くことを考えたら、ありがたい。

そういう次第で、水周りは格段によくなった。

風呂桶は、ジャスコで3500リング位する。プラスチックの桶が70リングで売っていたと情報を得た。使い物になるか見に行かなくては。

しかし、不具合は次々と・・・また次回に。

バティックのエプロンセット



うまく出来上がっているので、ご紹介を。私はバティックの布が大好きだ。綿100パーセントのカインパンジャン（長い布という意味）はサロンとして腰に巻いたりする。

模様には、テーブルクロスにもできるような総柄のや、腰に巻いたときにきれいな模様になるものやら、腰に巻いたときに前の部分だけが色の違うものやらがある。

それはそれはきれいな模様がいっぱい。昔の人がジャワ更紗として珍重したものだ。絹の上に描けば友禅染だし・・・

民族衣装だから、美しいのだろう。



一部模様の違う部分を、袋やハンカチにして、模様のある部分をエプロンとしてこしらえてもらった。

サンプルとして、エプロンと袋を渡して、作ってもらった。
どんな模様が出るかは、布次第。それを考えて選ぶのもまた楽しい。

きれいなものを見ると、心が和む気がする。

ゴミ回収の人ってすごい



今ではそんなことはなくなったが、はじめのころ、駐車場がすごいごみの臭いがする。ごみ集積場の上にあるからなのだけど、それが異常なのだ。

入居者も少なく、資材ごみだけと侮っていた節もあり、マンション3軒分ほどの部屋がごみで埋め尽くされ、腐敗しているらしいのだ。

ハエが多くなりようやくゴミ回収者が来た時には、その人たちがかわいそうなほどの臭いとなっていた。

しかも素手でトラックの上に、ゴミ袋を積み上げているのを見につけて、衛生教育もなされていない人たちが、こういう仕事についていることに、なんとも言いようのない思いがお

こった。

車の上の人と眼が合ったら、にっこりしてくれたが、申し訳なさでいっばいだった。マネージメントの怠慢？に少し腹立たしさも覚える。（理由は分からないが）

数日間は窓も開けられないような状態だったが、いつの間にか虫もいなくなり今は快適な状態に戻っている。

2007・07・01（日）

いろんな疑問

新しい住まいで、不思議なことがよくある。

例えば、郵便受けに表側から新聞くらいのもが入らないということ。取り付けが悪いのじゃないかと思うのだが、もう少し様子を見てみよう。カスタマーサービスには、口頭で伝えたのだが、書類が要るのかな？

新聞が入らないので、仕方なく鍵を開けたままにしてある。

また、エレベーターが何箇所かに、それぞれ4～6台ずつついている。しかし、表示が異なる。同じ階なのに表示が違うとすごく混乱する。

しかも、ショップの部分と、住まいの部分のエレベーターは同じでないので、乗り換えたりの手間がある。

G階（グランドフロア）がずれているんです。分かりにくい！土地が斜めになっているため、高さが違うからかもしれない。

それを狙っているのか（一般人が紛れ込まないように）、あるいは単に間違っているのか、見当がつかない。

駐車場のこと。アクセスカードがないと入れないはずなのに、ゲストのある日には、うちの駐車場の場所に無断駐車されている。

主人には、それがすごくストレスになっていると思うのだが、文句を言いたいときには、事務所が閉まっているし・・・

でもなぜ、アクセスカードがないのに、知らない車がいるのかなあ。

それにしても、コンドミニアムの契約駐車場の、空いてるところにとめればいいという感覚、ちょっと変！

ゲスト用にとめるべきですよ。

枠のないところに、いつも止めてるベンツがあるんだけど、それも契約外だと思っただけど・・・これもしばらく様子見ですね。

言葉も習慣も文化も違うとき、少しだけ辛抱。

2007・07・02 (月)

小さなお店



ミニマーケットは、インド系の人が店員をしているところが多い。コンビニのような感じから、何でもそろう雑貨屋さんのようなところまで、いろいろ。もっともこんなたくさん在庫をして売れるのか、それがまた古びていて心配になるようなところもある。

空っぽだった店舗にミニマートが入った。早速お試しで買い物に。パンと飲み物とほんの少しの雑貨だけ。

今日オープンなの？ってきいたら、昨日の夜からだって言うの。

工事屋はまだ入っていて、入り口を塞いでるし、どんな商品を入れるか、外で商談らしきものをしてるし・・・

4個ほどのものを買うのに、値段が入力されてないらしく、レジ係はバタバタ・・・して、時間がかかった。お店屋さんごっこみたいで楽しそう。

でも簡単なもので、急に要るときは便利かな？

100メートルほど行くといろんな物がそろっているお店もあるのだ、コンビニもあるし、やっていけるかな？

ワイヤレスルーター



インターネットはワイヤレスだということだったが、申し込みには、ワイヤレスルーターの器具と来年3月までの契約がプロモーションで、250リングだった。

当たり前といえば当たり前だが、初期費用は何でもかかる。

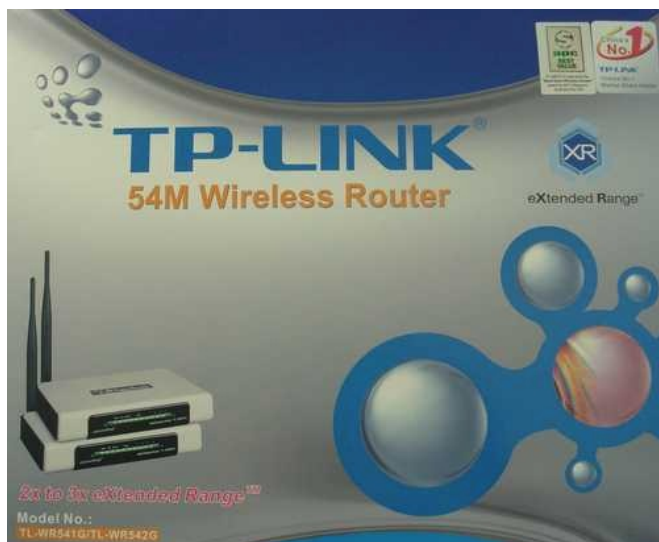
右側の箱からぴょんと出ているのが無線のアンテナらしい。しかし、壁の内部にも配線されているので、2か所は有線で利用できる。私のパソコンは無線のカードがないので、有線にし

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-

ている。

案外、ルーターだけ買うより割安かもしれない。4月からは月々66リングの利用料がかかるということだ。

どんなルーターかといえば



メイドインチャイナ。中国でマーケットシェアホルダーNo. 1とシールが貼ってある。

今のところ快適だ。

しかし、どこがプロバイダーか分からない。メールアドレスなどもない。こちらの人はたいてい、ヤフーかホットメールを利用しているので、有料のメールアドレスなど要らないのだろう。

2007・07・06（金）

自作のキッチンはひどいんだが・・・

結局一目で部屋をいいと思ってしまったので、細かい部分のチェックが行き届いていなかった。キッチンのシンクがひどい。

どうも自作らしい。

しかもシンクと切り口が合っていない。だからすき間ができて、ゴムのりみたいなので、シールしてあるつもりらしい。



最初は、「もう絶対取り替える！」とか思っていたけど、半月以上も過ぎると、たいした料理を作っているわけでもないし、人を招待するとかしなければ、これでいいかも思っている。

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-

オーナーには、キッチンが傷んでも文句は言わないことと釘を刺してある。もちろん取り替えてもいいのだが・・・

これを口実に、簡単料理でおさまるかな。「前と同じ」だった？

それにしても、狭いキッチンのほうが居心地がいいのは、不思議。

広すぎて、塩ひとつとるのに、何歩も歩かされることを思えば、私にはいい。

洗い物が不便なんだけど、マレーシアの屋台のように、おおぜいの場合、プラスチックのたらいを買ってきて、それで洗うという手もある。

昔のことを思えば、屋台のことを思えば、カンブン（田舎）のことを思えば・・・だいたい「まし」ということにする。

2007・07・07（土）

電車の床がこんなに！



ずいぶん久しぶりに「ブトラLRT」に乗った。乗った理由は、タクシーに渋滞のKLCCへ行くのを断られたので、最寄りの駅まで乗せてもらい、電車を利用したという次第。

久しぶりの電車に乗って、ひどく驚いた。床がもうこんなに劣化して痛んでいたのだ。

つり革は？と見ると、これもひどい、汗と脂とでしょうか、劣化した筋目が黒くなっている。掃除はだいたいきれいにされているのだが、ひょっとして、床は濡れたモップで拭いているのだろうか？きっとそうだよな。

掃除方法が悪いのか？

ある程度の年月が済んだら交換するというメンテナンスが行

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-

き届いていないのだろうか？

材質がはじめから悪いのか？

暑い国だから仕方のないことだろうか？

こんな床を取り替えるなんて、すごい費用がかかると思うの
だけど、変えないとどうなるか・・・

今日、どこかで見たフレーズを。

「都市の構造は、そこに住んでいる人の心の作り方を、その
まま空間に投射します」

どんどん発展しているのだけど、たったの数年後が・・・

2007・07・09（月）

インターネットが通じない

ケーブルが繋がっていませんの警告が出たときにはあせった。

設定の間違いだろうか？いや、何も触ってないし・・・

新しくないケーブルを使っていたからだろうか？差し込み口やら、何度も確認・・・

ルーターの箱を探してきて、CDを挿入してみたり。ちっとも分からん。あきらめる。

雷あったから、そのせいかも？でも、雷対策してないかい？ヒューズも飛んでないし・・・

混んでいるからかしか？

などなど、考えたが、いろいろ何度も試してしばらくほおっておくことにした。

ふと、ルーターの設置のことに考えが及んだので、点検してみた。

なんと、電気が来てない。しかし、ヒューズは飛んでない。

朝になったので、カスタマーサービスに依頼。

電気やらしい人が来てくれた。



分電盤の接続がどうも悪かったようだ。
しかし、なんで？という気がしないでもない。
確かに、仕事にはなる。

先日も、コンドのそこいら辺を歩いている男の子に声をかけられた。ペンキやだけど、用事があったら言ってくれって。ちょっと、まだ新築なんだけど・・・
みんな個人企業なのかしら？

2007・07・12（木）

花の持つイメージ



ショッピングセンターのイベントを前に、飾り付けが行われていた。大きなブンガラヤ（ハイビスカスだっけ？）が会場の周りに飾り付けられている。薄い布で作られているらしく、とても素敵だ。

花の持つ雰囲気、はかなさみたいなのが表現されているように感じた。

2007・07・17 (火)

プロモーション価格だったわけだ

またまた金曜日あたりからインターネットが不通。ちょっと変だなと思い始めたが、しばらく様子を見ようとしたのが間違いの元？

はっきりと具合が悪いと分かったのは、週末になってからだったので、連絡もつかず、月曜日に電話をしたが、連絡待ちもあって、家を離れられず、火曜日のイブニングまで待ってくれということだった。

火曜日の4時でもまだ不通。期待せずに6時半に起動で、回復していた。ああ有難い。

たいしたメールがあるわけじゃないが、辞書がわりでもあるパソコンが、通じないとかなりしんどい。なんでも相談に乗ってくれるお友達だもんで。

どんな大きさのプロバイダーか会社か知らないが、とにかくこれからもしっかり頼みますよ。

来年3月末までは、私たちが実験台と言うところなんでしょうか？

数日は、はしごに乗って、電気やルーターの動きをチェックしたり、何度も起動させたり、設定をいじってみたり・・・
・ずいぶん無駄な努力もしました。

まあ今は一安心です。こんなことぐらいで、落ち着かないというのも情けないですが・・・

2007・07・19（木）

ハリーポッターと見えない世界

ずいぶん話題になっていながらも、ハリーポッターにはほとんど興味がなかった。でも、知人から映画にお誘いがあった。

自分じゃ選ばないだろうから、せっかくのチャンス、行くことにした。

事前にインターネットで、どういう物語かを調べるが、これまたちょっとやそつとでは、覚えられそうにない。やたらに長い背景がある。

魔法学校、人物関係、誰が相手方か、何のためにそういう行動を起こしているのかつかめない。

その上に、英語の映画・・・見に来てる人は筋も分かっているし、英語も分かっているから、受けている場面もあるが、こちらはさっぱり・・・

そうこうするうちに、映画は終了してしまった。

詳細は分からなくとも、映像は面白いし、見える世界と見えない世界の揺れ動きが、上手に表現されているように感じた。

私は今、見えない世界にとっても興味があるのだ。

見えない世界は、どんなエネルギーで動いているのだろうか？

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-

ハリーが生徒たちに、小刀のようなものの先から、煙やエネルギーの放出の仕方を教えていたが、そのエネルギーのものはどこにあるのだろうか？

本にはそういうことが詳しく書かれているのかもしれないが、読み通す気力はない。

少年少女の時代に、こんな本を読んでいたら、大人になったらどんな人になるのだろうか。

SFで育った人が、実際にそんな世界を作ったように、超能力を誰もが持つ時代になるのだろうか。

ドラゴンボールのときにしあって、ハリーにしあって、どこかにあるエネルギーをコントロールする力を持つことが、良しとされてきている風潮があるような気がする。

このこと自体は、人類として進化なのか、あるいは古代の人類に戻っていることなのだろうか？

若い世代はどちらを向いていくのだろうか。

2007・07・20（金）

どんなご飯が好き？



お昼ごはんの外出は、安くておいしいのがいい。

といっても、おいしさは人それぞれ。

白人はパンですね。あまりご飯とか麺類を食べてる人を見かけたことがない。

中国系の方は、麺類が好きなのがします。マレー系の方はご飯ですよ。

さて日本人は？

私は、お腹の空いているときは、白いご飯の上に好きなものを乗せて食べる、マレー系の「ナシ・チャンポール」が好きです。

このお店は最近知りました。ボートをかたどった台の上に、いろんなおかずが並べてあって、好きなものを好きなだけとる

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-

システムです。

こちらはそういう自分でとるのが多い。

つつい取りすぎて、太った人が多いですよ。（マレーシア人で肥満の人は、3分の2に近いと聞いたことがあります。）

ご飯まで自分でとるのには驚いたですね。

衛生上少々問題があると思うのだけど・・・

お昼ごはんにあわせて作られているので、温かいご飯にできたてのおかずはとてもおいしかったですよ。

ただ、魚の内臓か何かを発酵させた調味料「ブラチャン」の臭いがダメな人はマレー系のご飯は嫌いという。それに、ココナツの実を使っているので少し違う味がする。

そういう意味では、中国系のおかずにはそれらはあまり使われないが、味が単純ということも否めないです。

このお店も、長くおいしいお店でいてね。

山ほどある飲食店の中で、好きなお店はほんの少しですね。

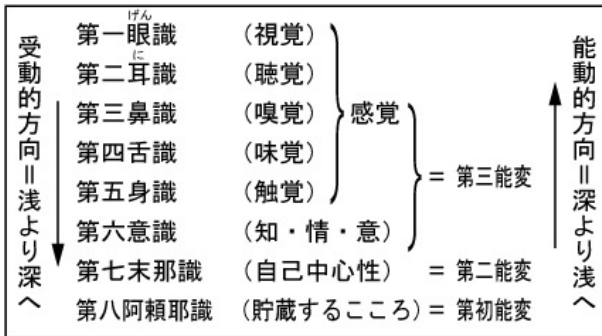
2007・07・23 (月)

阿頼耶識 (あらいやしき)

なんだかこの言葉が、妙に気になって、インターネットで調べてみたりしている。

人間の意識には、八識あるのだそうだ。

唯識の八つの識



6識までは、意識していることだが、7つ目の自己中心性と、8つ目の連なる先祖から蓄えられた倉庫のような、無意識の部分とがあるのだそうだ。

その8つ目が自分の行動を無意識に決めていられるらしく、そこに蓄えられる情報をよりよくしていくことが、よりよい人生を決めていくらしい。

そのためには、よい情報の刷り込みを行わなければならないそうだ。それがいわゆる「祈り」なのかなと、ふと思いました。

たまたま見つけたこちらのページを参考にさせていただきます

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-

した。http://www.plinst.jp/musouan/yuishiki.html

いろいろと勉強している方がいらっしゃるんですね。

いろんなものの中から、これと思ったことに没頭したいものですが、それがよりよい情報なのか、そうでないのか？

それを決めるのが、自分の7つ目、8つ目の無意識領域かと思うと、深いものがありますね。

2007・07・26（木）

楽しかったことと困ったことと、どっちがいいかな

私にとって「ブログ」は、日記でもあり、生きてる証でもあり、生活の張りでもあります。

もし、ブログをしてなかったら・・・あまり考えたくないですね。

では題材をどこからとってくるか？

楽しい出来事か、困った出来事か？

あまり楽しいことばかりだと、毎日遊んでばかりが丸ばれだし、困ったことばかりだと、うっとうしいしですよ。

というか、遊んでばかりなのは、もうばれてますか。

困ったことも、回数を重ねると、困ったことにならなくなってくるのです。それを人は経験とか成長とも言うのでしょうか・・・

インターネットが時々繋がらないのは、全然経験になりません。

でも、もう一日待ってみようかと思うようになったのは、多少心が成長したとも言えるのでしょうか？

先日から、もう2回そんなことがありました。1回目は、すぐに電話、すぐに対応。合格。

2回目は、私がしないでも他の人がしてくれるかもと、期待。その通りで、繋がりました。

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-

オフィスやショップが入る予定のコンドミニウムですから、そういう点是对応が早くなるかもに、期待します。

いや、途切れないように努力すべきなのですが、なんにしる、雷がすごいですからね～。



雨の後の工事現場は、水浸し。

ところで、うちの家の壁のしみが少しずつ大きくなっているように感じるのです。鉄骨に直接白いペンキを塗ってあるような柱、コンクリートに直接白いペンキを塗ってあるような壁面の家ですから、継ぎ目のところが、錆びていたりしています。

もしこれが自分の家だとしたら、おちおち住んでられませんかね。

雨漏りだろうかとか・・・財産価値が下がるようで・・・

とにかく、この国で一生ものの家というのではないのかもしれませんが。

2007・07・29（日）

タンゴ

去年の4月に、ダンスを習い始めて、15ヶ月が過ぎました。といっても月に4回1時間ずつですから、60時間ですわね。

たったの60時間ですが、結構ステップも覚えられるようになって来ました。

ルンバからはじめて、
ジャイブ、
リズム、
チャチャチャ、
ワルツ、
ロックンロール、
サンバ、
そして最近はタンゴが加まりました。

8つもステップができるのはたいしたものですが、残念なことに、音楽が分かりません。

曲が流れても、ステップを言っても貰わないと踊れないというのは、致命的ですよ。

知人夫婦に引きずられて、始めたダンスでしたが、そんなことでもないと、きっと縁がなかったでしょう。

いつを潮時にと考えながら、通っていますが、行けばそれなりに楽しいんですから、なんだか仕方ないですね。

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-

タンゴの曲は、好きです。

ようやく好きな曲がやってきたような気がします。ダンスもキビキビしていい感じです。

それにしても、見せるダンスは、女性が首を伸ばして後ろにそらしたまま踊らないといけならしいので、とてもしんどいです。

レッスン場には壁面に大きな鏡があるのですが、できるだけ見たくないですね。自分たちを見るとイメージが壊れてしまうので。

首を伸ばして宙を見ることにしています。

ダンスの好きな人は、踊れる場所に行って、習ったことを復習をかねて踊るのでしょうか。

1度だけホテルにあるダンスホールに行ったことがあるのですが、時間が早かったからでしょうか？女性ばかり（中年の）が座っているんです。いったい何のために居るのか分かりませんね。楽しそうに話すでもなく・・・女性同士で踊るのかしら？

そんな場所で下手なダンスをするのはとても気が引けて、すぐに退散しました。それ以降行ってません。

後日、中国系の女性から聞いたのですが、自分の知っているダンス教室に通っている人は女性ばかりだとか・・・私が背が

高いこともあるので、女性ばかりだと男役をさせられると思うと嫌ですね。

夫婦で習わないとあまり意味がないように思うのですが・・・

思い出しました。そういえば、キャンプファイヤーのためのフォークダンスも嫌だった。自分より背の低い男の子のほうが多かったから。

アラ懐かしい。フォークダンスといえば、好きな男の子が来る前に、いつも音楽が終わりましたよね。

女性たちがダンスを習うのは、そんなウキウキ感を求めているのでしょうか？

本当はご主人と仲良くしてくださるといいのにね。

なんだか変な思い出話になってしまいました。

2007・07・31 (火)

ファイヤープロブレム

今日は、知人がうちを見にやってきた。散々おしゃべりして帰る段になったら、エレベーターが動かない。

うん？

2ヶ所にあるエレベーターとも動かない。

マネージメントオフィスに電話できいて見ることにした。話を通じるかなあ。

どうやら、「ファイヤープロブレム」だから、5分ほど待つてということらしい。

知人はもう帰りたいだろうし、ひょっとして火災だったら大変だし・・・

エレベーターの中でなくてよかった。

仕方なく階段を下りることにした。

警報ベルが鳴り出した。

11階からマネージメントオフィスのあるP階まで、ただドンドン降りる。

ずっと警報器がなっている。

マネージメントのオフィスあたりでは、人が忙しげに動いている。外に出たいけどと尋ねたら、あの階段でと指差され、また少し薄暗い階段をドンドン降りていく。

やっと地上に到着。太ももがプルプルしている。

知人を見送ったあと、私はあの11階まで歩いて上がるの？

警報器はまだなっている。

トイレも行きたくなかったけど、どうしようもない、近くのお店に入って用を足す。落ち着くまでと、食べ物をとる。

そろそろどうだろう？もう30分以上はなり続けている。

ようやく終わり、エレベーターを乗るとき、修理の人が一緒に乗ってくれた。途中で止まったら大変だからか？ありがとう。

ちなみにエレベーターはシンドラーです。



嵐が丘？のような黒い雲（雨雲）がやってきた。日本じゃこんな分かりやすい雨雲はなかなか見られない。

たいへんだあ～、窓を閉めろ～

2007・08・02（木）

シャワーだけ

浴槽がついてないから、どこかで探すんだと思っているうちに、もうシャワーだけでもいいやと思えるようになって来ました。

子供用プールを買ったけど、使えず失敗だったし、本格的なバスタブは高いので買いたくないし、タライみたいのだと少し寂しいし・・・

それで結局ありあわせのバケツを使うというお粗末。
足だけでもお湯に浸けていたいという気持ちからです。

他人がお風呂やシャワーに入るのに、どんな風に入っていますか？なんて尋ねることは少ないと思うのです。

でも、シャワーだけの人は、足のかかとをどのようにして洗っているのか知りたいものです。

裸足でタイルを歩き、サンダルなんかを履いていると、足のかかたが角質化して、そのうちにひび割れして・・・

そういうのになりたくないですね。

ペディキュア屋さんで、足裏の角質をこそげ取るようなサービスもありましたが、なんか怖い感じがしますね。

足の裏を洗っている様子を想像すると、あまり格好がよくないですね。洗わないのも変だし・・・

老人になったら、いすを使うのだろうか???

いろいろ謎です。誰かに尋ねてみよう。

2007・08・04（土）

久しぶりの日本料理

久しぶりに本格日本食レストランへ行った。

ジャパニーズレストランと言うのは多いのだけれど、料理人が日本人でないところは、悪いけどあまりおいしくない。



「尾川」というレストランに行ったら、吉兆の暖簾が目に入った。料理人は吉兆出身だろうか？

吉兆ヒストリーから「海外では本当の味はだせん」「世界之名物 日本料理」第1部第2章より

確かに日本料理というのは、空気感や水の味、湿度、気温などでおいしさが異なる。醤油ひとつで全然違うものになってしまう。それでも、たまにこんな機会を持っていい夜を過ごせた。ご馳走様でした。

2007・08・07（火）

日の出



最近空が曇っているのは、ヘイズでしょうか。

今朝の太陽は、夕方のお月様のような感じでした。

こちらの時間の7時ごろ。

日本のように長時間お日様は出ません。約12時間の日照時間。だから、昼は暑くても、夜は多少涼しく感じられるのでしよう。

2007・08・10 (金)

昔ながらのシーフード店



シーフードはおおぜいで食べてこそおいしい。

急に電話をもらって、夫婦で参加。

昔のスバン国際空港の近くのシーフード店。今風のいけすに魚がいっぱいというようなところではなくて、家の近くのショップロットのお店と変わらないような中国料理店。

屋根のついているところは、他のお客の声がうるさそうなので、星空のもとのテーブルで。

人のことうるさいといってるが、自分たちも負けずに充分うるさい。

日本人って割りと静かに食べますが、中国系の人はほんとに

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-

うるさい。

しかし、そのほうがかえて周りのことが気にならないのだから不思議。

なぜなら、自分たちの仲間の声を聞くために、相手の声を集中して聞かなければならないからだ。大きな声を出さないと、相手に聞こえないし・・・

すぐ外を車がビュンビュン走ってようが全然平気。

シーフードとなっているので、ノンハラルだとは思うのだが、貝の酒蒸しみたいなのもあったが、酒ではないのだろうか？調味料？まあいいや。

数え切れないくらいの品数と、男性陣はビールをいっぱい飲んで、割り勘男性一人50リング。女性は端数のみでOKをもらった。一番よく食べたけどねえ～。

いっぱい食べて、飲んで、しゃべって、笑って・・・3時間も座っていました。

大きな声でしゃべっても、みんな夜空へ消えていきました。

2007・08・12（日）

マレー系の屋台

土曜日に「KLそごう」に出かけた。そのあたりは、洋服に生地やら、バティック、スカーフなど布物を扱うお店が多い。その中心に「そごう」がある。もう日本人はほとんど行かないだろうと思う。今はローカル対象になっている感じがするが、周辺よりグレードが高いらしい。

そのあたりに、ショールを安く扱う卸の店のようなところがあると聞いて、出かけてみた。好きな色があるときは安いだろうと思う。お土産用に何点か買った。



お昼ごはんは、屋台で。私の好みのマレー系のかけご飯。肉、魚をとると高いが、野菜や卵程度だと、3リングで食べられる。大勢で人気そうだったので入ってみたら、やはりおいしかった。お昼ができたてで、一番おいしい。飲み物を入れて5

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-

リングほど。食事はスプーンやフォークを使わずに右手で食べるんですよ。それがおいしいらしい。



おしゃれして来ているのだろう。若い女の子は、ほとんどがジーンズ。頭のスカーフ（トゥドゥン）は、マレー系の人にはしなくてはならない。（多分、宗教上半強制）

私はいろんなスカーフでおしゃれができていいかもと思うようになってきた。髪の毛の手入れにそんなにお金がかからないし。

高齢者でも毛が薄くても、全部きれいな模様の布が隠してくれるもの。

そして、中年以上の人のファッションは、全身包むようにマレーの服を着ている。私は布の柄がきれいと思うのだ。好きな布を選んで、作ってもらおう。女性としては幸せだ。

日本も昔はきれいな柄の着物を反物から選んで作っていたのですけれどねえ。



パパイヤを割ったら



小さめのパパイヤを買って、さて食べようと割ったら、いつもと様子が違う。

いつもは真っ黒の種がびっしりなのに、今回は違った種類の種のような。からからに乾いている。

食べたくない気分になったけど、もったいないので厚めにむいて食べた。

半分は硬いと思いながら食べた、あとの半分は炒め物にしちゃった。

これを書いてたら、パートナーが見て、昔同じこと書いてたよって。

全然覚えてない自分が怖いけど、ひょっとしたら、彼のほうがぼけてるのじゃないかと思うほうが、もっと怖いのかも。生活のパターンが同じなんだなあ。

私の頭の中も、こんな具合だったりして・・・カラカラ。

2007・08・17（金）

京都五山の送り火



京都生まれの主人が、NHK 国際のテレビをじっと見ていた。小さい頃は毎年見に行ったけど（この日は無料で一般に公開されるそうだ）、詳しいことは知らなかったと。

本当に地元の人で続けられているのだな。着物や帯の産業が下火で、潰れる企業も多い。お店が知らぬ間に、駐車場になっていたりが多かったそう。若い人も住みにくくなって、少なくなってしまう。

こういう先祖を敬う行事は、日本のいい風習としていつまでも続いて欲しい。

五山それぞれの宗派が違うのか、読経がそれぞれ違って、興味深かった。奈良や全国各地で、灯ろう流しが行われているようで、多くの人が祈り、日本もなかなかいいじゃないかと思った。そんな日々が続くといいのだろうが・・・

【五山送り火とは】 京都新聞より

8月16日午後8時から、京都盆地の周囲の山に、炎で描かれた「大」「妙法」の文字や鳥居、船が次々に浮かび上がる。精霊送りの意味を持つ盆の行事で、京都三大祭（葵祭・祇園祭・時代祭）に五山送り火を加え、京都四大大行事と呼ばれる。東山如意ヶ嶽（支峰の大文字山）の「大文字」がもっともよく知られているので、送り火の代名詞になっている。

江戸時代後期には「い」（市原野）、「一」（鳴滝）、「竹の先に鈴」（西山）、「蛇」（北嵯峨）、「長刀」（観音寺村）などの字形もあったが、途絶えたといわれている。

2007・08・18（土）

美しい国

日本の防衛省で、初の女性大臣となった。そのあとの、事務次官の選任でいろいろともめたようなことが、「Google ニュース」を通じて見ることができる。

なんか海外から見ると、ごたごたしていて変な感じがする。

安倍首相の人の選び方というか、彼の人を見る目というか、きつとどこか違っているのかもしれない。信念が貫けないというか・・・

初の女性防衛大臣に、何か期待したのに、田中真紀子さんのときと同じように引き合いに出されているのを見て、がっかり。そんなことで気持ちが揺れる自分にも、何も知らなさと情けない。

先日、元自衛隊の人のブログを見つけた。毎日更新していて、とても面白い。賛同するかどうかは、個人の考え次第だが、何も知らない私には、勉強になる。

もうひとつ海外でのんびり日本人がやれるのも、国のことを真剣に考えていてくださる人たちがいるからだなぁと思う。

清潔で、よく学び、まじめで、一生懸命働き、質素で、謙虚で、我慢強い・・・そんな人たちが住んでいる国が「美しい国」なんだろうと思う。

そんな人に私はなりたい・・・どこかで聞いたような。

豊かさになって、遠くになってしまったなぁ。

2007・08・21 (火)

パソコンの講座

KLの日本人会では、月に一度くらいの割合で、パソコンの講座を開いているという。

今回始めて参加させてもらうことにした。

PDFの作成と、マルチカードリーダーの使い方という内容だそう。

パソコンの講座を受けるのは、日本にいたとき以来だから、5年以上になるのか、もう。

ウィンドウズもバージョンアップしたけど、ほとんどインターネット利用だけになった私とは関係のない世界になってしまったし・・・日本にいたら、宣伝がすごくて、じっとしてられないのだろうが。

PDFは私にはなんだか読みにくい感じで、遠い存在なので、このチャンスに受けさせてもらうことにした。

フリーの作成ソフトがあるらしいのだ。

さて、授業についていけるかどうか、今夜が楽しみだ。

2007・08・22（水）

久しぶりの講座は面白かった

日本人会のPCルームの有効利用ということで開催されている講座。講師の方はボランティアなんだろうなあと思う。ありがとうございます。

何気なく知ったつमोरのことまをきちんと説明してもらえると、とてもわかりやすい。

夜の7時から9時までの2時間たっぷり、でもあっという間に終わった気がした。日本の講座（昔）なら、ひとつのことをやたら長く引き伸ばして教えたものだが、ある程度PCを使えることを前提にした講座だったので、とてもペースが速かった。

というか、やり方は簡単なのだ。ソフトさえあれば誰でもできるといふことなんです。

まずは、

「マルチカードリーダーの使い方」

携帯電話やデジカメの写真や動画、音楽ファイルなど、機器に入っているSDカードとかメモリースティックとかを取り出して、パソコン上にファイルを作る様子を教えてもらった。誰でも知っているつもりだが、自分のカードしか知らないのだから、他のカードの種類も見れて参考になる。

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-

カードリーダーがあれば、インストールしなくても読み込めるようだ。なんでも簡単便利になっていく。

メモリーカード付きの携帯電話で、容量が大きければ、音楽も映像（テレビの番組をダウンロードしたり・・・）使えるという。

昔は、ひとつのことしかできなかった機器が複合されて便利になっている。

そして、メモリーカードとカードリーダーが一体化した「ペンドライブ」（別名サムメモリ、ペンディバイス、ジャンプドライブ、フラッシュデバイスなどと呼ばれるそう）は、USBさえあればいい。

それが進化して行くと、もうパソコンを持ち歩かなくても、USBを受け入れるパソコンさえあれば、自分の環境のパソコンを、相手のパソコンの環境を使わずに立ち上げることができるようだ。

私はそれを大いに期待している。（もう発売されているはずだが、評判を聞く機会がないのが残念だ）

「PDF作成の仕方」

これは、フリーのソフトが配布された。

アドビのアクロバットしか知らない世代なので、ソフトにお

金を払ってまで、PDFを作ろうとも思わなかった。（アドビのソフトは高くくて重くて仰々し感じがするのは私だけかな）

しかし、フリーのソフトが誰にでも開かれているのだ。

無料の「PDFクリエーター」（ウインドウズ用）

インストールすると、プリンター上に表示されて、印刷をする代わりにPDFが作成されるのだ。

印刷の代わりに、PDFが作成される。

だからEペーパー = ペーパーレス化

先生は何度も、紙と同じと強調されていた。

目に見ないと理解できない年代では、ちょっと意味がわからないかもしれない。

このすき間に、年代のギャップがあるように感じられる。

インターネットのあっちの人とこっちの人という感じかな。

そういう私はどっちの人かな。

知らない言葉もいっぱい出てきたし、インターネットで調べる材料がたくさんだ。

学べるチャンスを利用させてもらって感謝です。

参考単語；自分で調べてください

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-

Fedora

リナックス

オープンオフィス

PDF

宅ファイル便

スカイプ

アドビリーダー

アドビアクロバット

メモリーカード

ペンドライブ

アンマウント

かめゼリー



名前は聞いていたけど、初めて体験。

メガモール内のお店。

カップにいっぱい真っ黒なゼリーが6リング。

ハーバル・ゼリーなんだって。

一口食べて—————にが〜い〜

私がなんとなく足が向かなかったのは、こういう理由だったのねと納得。虫の知らせとでも言いましょうか。

一緒にいた友人にパスさせてもらった。

漢方薬入りのゼリーってことなんでしょうね。

慣れればきっと病み付きになるのかも知れないが、初めてはダメだった。

外ではお茶いっぱいくらって売ってるんですよ。買ったことないけど。これを茶店というんでしょうね。

ところで、ゼリー自体の原料は何？ただのゼラチン？それともすっぽん？

亀のエキスだとかのうわさも。

2007・08・23（木）

ミニチュア模型



今住んでいるコンドミニアムは、半分も出来上がっていないらしい。作りながら売っている。

今回の販売は、サービスアパートメントだ。

単身か小家族用かもしれない。

2週ほどウイークエンドに、テントを張って売り出していたが、これくらいの調子。いいのか悪いのかはわからない。

誰が買うのだろうか？投資用だろうか、大家さんになって人に貸すというのはなかなか大変かも。

The image shows a large grid of numbers, possibly a lottery table or a data set. The grid is composed of many small cells, each containing a number. Several cells are highlighted with red circles, indicating specific values of interest. The numbers are arranged in a regular pattern, and the red circles are scattered across the grid, with a notable concentration in the lower-left quadrant.

借り手がなかったらどうしようもないんだから。单身向けの部屋なら、自分たちの家族が住むことができないし・・・しかし、ロングステイ用の人にもいいかもしれない。

どちらにしろ、私が心配することはない。

2007・08・28（火）

ぶらり



曇っていたので、郵便局まで支払いに出かける。車にとっては、あまり便利な道じゃないので（なぜか通り抜けられないようになっている）、交通量はすごく少ない。もう少しいろんなビルが建ち終わったら、通れるようになるのかもしれないが。



行き道は下り坂で、いい気分で歩けるのだが、帰りに荷物を持つと、ちょっとしんどい。でも今日は、雨の前の風が吹いていたし、荷物も少なかったのだから、ぶらりと帰ることにした。

ここにもショッピングセンターができるそうだ。まあ何年かかかるだろう。

部屋から見える位置にあるが、整地にだいぶ手間取っているような気がする。

石が多いのだ。時々発破をかけているので、地響きで怖いことがある。

彼の仕事はなんだろう？

ダンプカーのタイヤの泥を、道に出さないような仕事なんだろうか？

かんかん照りのときは、つらいだろうなあ。

無表情な顔は、どういう意味かな？

私のこと、何人かなあと思っているのかしら。

独立50周年記念日はもうすぐ



日本から観光に来た人と、夜ツインタワーのそばまで見に行った。いやあ、やっぱり美しい。夜は特に美しい。

8月31日が記念日だから、その前は、街もきれいでとても

いい気分。

近くだと、あまり大きすぎて写真に入りきれない。



ツインタワーの足元は、11時過ぎなのに、まだまだ車が走っている。

夜の街は、にぎやかで、少し妖しい。

クアラルンプールは、次第に眠らない街へと変貌していく。

2007・08・31 (金)

31日になった



夜なのに車が多いのはどうしたわけだろうと思っていた。連休になるから、スーパーマーケットにでも行くのかなと思っていた。(休み前は、午前1時までやってるそうだ)

眠っていたら、いきなり大きな音。驚いたことに、午前零時から花火が始まったのだ。約20分間の素晴らしいショーだった。

前の家のときは、少しだけ見えたが、引っ越した家の窓からは、真正面に見える。しかも、例年より素晴らしい花火の連続だった。

あまりうまく写せてないですが、一つだけ。



車もずっとそこいらに止まったままだった。車は、花火を見るためにやってきたのだとようやく納得。

ブトラジャヤでは、日本の花火師による打ち上げが行われると聞いた。それはもっともっと素晴らしいのだろうなあ。

ムルデカ！（MERDEKA、独立）

今晚、日本へ発ちます。二人目の孫ができるので、お手伝いに戻ります。

2ヶ月ほどはお休みいたします。

2007・11・17（土）

70日間日本滞在終了

久しぶりに日本から戻ってみると、やっぱりマレーシアは気候が温暖？でいいねえ。

日本では、しまっていた夏服を再び取り出して、軽やかに出かけられる。

日本では朝晩、ストーブをつけたりしてたんですよ。

体がもう夏向きに出来上がってるらしく、寒さにはめっぽう弱い。

しばらくは、マレーシアの気候を楽しみます。

これからもどうぞよろしく。

インターネット環境もよさそうだし。

でも、カードキーが壊れてしまって、外出に不便をきたしているのだが・・・

詳しくは次回に。

2007・11・20（火）

出入りはどうするのよ

まったく不便なコンドミニアムだ。どういうコンセプトになってるのだろう？便利に使おうと言うのがいけないのか？

ビジネスオフィスやショップの棟と住まいの棟が、複合的になっているのだが、安全性（外部の侵入を少なくする？）のために、エレベーターは共有していない。

しかも、勾配のある土地に立っているので、G階といっても、それぞれの棟で違う。

言葉で説明しても分かりにくいのが、要するに、登録した自分の車で自分のスペースに駐車した人は、エレベーターで直接部屋に戻れるが、歩いて家に帰ろうとする人には、関門がいくつもあってすごく不便なのだ。

カードキーを持っていないと、あちこちにあるドアの鍵を開けることができないので、警備員のいるドアへ行って開けて貰わないといけないのだ。

エレベーターを乗り継いで、しかも警備員に説明して、サインして、そして、開けてもらって外に出る。帰りにはその反対。荷物があれば不便この上ない。

一戸建ての家はよく盗難にあうので、コンドミニアムは警備が面倒な分、安全性が高いともいえる。

そんな大切なカードキーが割れて使えなくなった。

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-

事務所に行くと、「今はストックがない。2，3週間後にはいる」という。



ええっ～どうやって外へ出るの？

「ノックすれば警備員が開けてくれるよ」だって。

日本にいた頃なら、かんかんになってたかもしれないけど、最近「ああ～しゃあないなあ」と思うようになって来ました。

2，3週間で入ってきますように。

2007・11・21（水）

スパイシーパダン

友人がマレー系の料理が食べたいという。

たいていのお店は、一度おいしかったからといって、油断してはいけない。なんだかいつも最初だけなのです。何があって、おいしさがデス。

それに新しいお店に行ってみたいし・・・

まだ自分の近所の店をよく知らないので、前日の夜、あちこち車で主人も一緒に探してくれた。

外から見てよさそうだったので、行くことにした。

「スパイシー パダン」パダン料理というとインドネシアではないか？！

マレー系と似ているけどちょっと違うかも。

まあいいや、彼女にその差は分からないと思う。おいしいほうがいいに決まっている。

いつものように、ご飯の上にいろいろかけて食べるのかと思ったら、パダン式は、小皿に盛るのと言われた。

で、少しずつ注文して写真のように。

*左の長いのはナス＝サンバル（唐辛子ミソ風）と雑魚のようなのが乗っている

*ビーフルンダン＝牛肉の煮込みそばろ寸前かな

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-



*テンペイの炒め物=発酵大豆製品をサンバルで炒めてある

*魚の揚げ物にサンバルが乗っている

*カンピンのカレー=羊かヤギのカレー

*何かの葉っぱのグリーンカレー風

*とうもろこしの揚げ物

*ジャガイモの揚げ物

*白いご飯2人分

*飲み物お茶2杯とフレッシュジュース1つ

二人でこれだけ食べて飲んで23リング。

あと白いご飯追加すれば4人分にもなる。

もう一度行きたい。おいしかった。

2007・11・23 (金)

工事現場観測



3ヶ月ほど前の現場は、石ころというか岩というかを取り除いていたが、現在は、鉄筋が埋められた状態になっている。



この進み具合は、工事としては順調なんだろうか？

さて、道路を挟んでもう一方は、遺跡の発掘かと思わせるような、穴ぼこだらけ。コンドミニウム建設の工事というのはこういうものなんだろうか？近くでつぶさに観測できるのはいいのだが、結構うるさい。

普通は、上から眺めることはできない。

地上から、トラックの出入りと土ぼこりを見る程度しか見学はできないと思う。

毎朝8時から工事が始まる。掘削機に乗っている人は、振動と騒音で、身体に異常が来ないのだろうか。お疲れさん。海外からの出稼ぎの人が多いと思うんだ。



工事現場の前にあるうちのコンドミニウムは住人が埋まらない。建ちあがってから住もうというのかもしれないが、景色が全然変わってしまいますよ。

2007・11・24（土）

岩手フェア



ジャスコで岩手フェアが開催されていた。あまり人もいないし、買いたいものがなさそうだと思っていたら、ちょっと目立つ集団がやってきた。

「なんだろう？」とっていると、岩手フェアのステージで踊り始めた。

ということは、これは日本の着物ですか？ガウン風の生地、とも布の帯ふうのベルト。帯に見えるようにスポンジに布を巻いて花の飾りをつけてある。

着物もこれくらい簡単だったら、今の若い人にも着てもらえるかもしれないけど・・・

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-



写真写りはかわいいかな？

2007・11・26（月）

マレーシアの鉄道（K T M）

クアラルンプールの中央駅は、マレーシアの列車の始発駅でもある。近郊のも、長距離列車も出ている。夜行列車に乗れば、朝には目的地に着くので、ホテル代を払いたくない人には便利だ。

ホテル代を払いたくない私は、シンガポールへ行くのに、往復とも夜行列車に乗った。料金によって、シャワー付きの個室から、2段ベッドの寝台車、いす席といろいろある。

寝台車は、往復86リング（下段）、これに乗る。個室は3倍くらいだと思う。

行くときは、向かい側のベッドに、いびきとすごい咳の高齢者にあたり、しょっちゅう起こされた。うるさいのでイヤホンで音楽を聴きながら寝ているのだが、咳は結構響く。あんまり眠れてない。

帰りはラッキーなことに、向かい側は空席。ありがとうよく眠れたが、ときどき列車が小石でもあれば脱線するぞというような勢いで走っているのが怖かったので、思わず何度も仏に祈ったものである。

多分運転の仕方が人によって違うのだろうが、怖くないのもあるのだ（単に熟睡しているだけかな）。

暑い国でまるまる1日シャワーを浴びないのは、気持ち

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-

が悪い。

発車まで時間があつたので、シンガポールからマレーシアに戻る始発駅でシャワーを浴びようと思った。

トイレは20セン、シャワーは1ドル（シンガポールドル、75円くらいかな）と書いてあるので、入り口で支払って入った。

嫌な予感は当たった。

これがシャワー????

薄暗く、シャワーの先がなく、濡れていて、何？これ！という感じ。ホースで水かかるだけですか？横にはトイレがある。



もっと暗くて・・・よく言えば、 unnecessaryなものは省いてある。

悪く言えば、メンテナンスがなってない。

料金取る入り口に大の男が二人もいて、何とかしろよ！と言いたい。でもまあ、自分の仕事以上をしないのがこちら風なのだろう。それに料金も水代だけと言え言えるし・・・



どことも、まともに機能するのは、新品のうちだけ。

しかし、今のコンドミニアムに住んで分かるが、品質が悪いのだ。ねじとか部品とかが・・・これは結局、文化の積み重ねに違いない。

すぐに錆びる金具とか、ねじとか、耐久性が必要なのに、プラスチックだったり・・・値段を優先させるためにそうなる

のだろう。

「安物買いの銭失い」と思っていないかなあ、こちらの人。「ネバーマインド」かも。（高いものは買えないのかもしれないなあ）

暑い国だから、腐敗が進みやすいことは事実なので、仕方のない面もあるのかもしれない。

やっぱりやめようかと思いながら、思い切って水浴びすることにする。

使い捨てのスリッパを持っていたので、それを履いて・・・さすがに頭は洗えないので、身体だけ水浴びと思ったが、「毒食わば皿まで」・・・

思い切って身体も持参のボディーシャンプーで洗う。

スリッパを履いてシャワーしている図はいただけないが仕方ない。

何とか足を上げながら、洋服を着る。無事済んで、ほっ。

次回は、シャワー付きの個室の列車にする？多分それも期待できないかな。

2007・11・27 (火)

2週間じゃ無理かやっぱり

カードキーは2週間で来るといってたので、事務所を覗いてみた。やっぱりだめだ。来週だって！本当かな？



前から水漏れしていたので心配だったが、とうとう本格的に修理でもするのか？

ガラスのエッジのプールが、このコンドミニアムの「売り」なのに、こんな状態じゃ仕方がないね。契約期間の2年持てばいいとおもっていたけど、予想以上に早かったね。直るのかなあ。

直さないと、今後の売れ行きに影響するものね。

頑張って！！

2007・12・02（日）

南国の冬景色



ショッピングセンター内でしか、こんなディスプレイはできないですね。雪の降ったあとの風景を想像して楽しんでいるのだろうか？

外は今日も太陽がキラキラといいお天気です。風もあるしすぐに洗濯物乾くよ。

案内表示



信号機になにやら紙が張ってある。結婚式のあるうちの案内なのだろう。

EMIとLINAはまっすぐに行ってください。

下のも日付が入って丁寧だけど、ちょっと見えにくい。同じくまっすぐに？

雨が降れば流されちゃうから、回収の手間が省けそう。

2007・12・07（金）

自分のブログを製本？

だいぶ前から、自分のブログを製本できるというシステムがあるので、試してみようと思っていた。

最初にやり始めたが、システムが発表された頃だったから、満員でなかなか思うようにダウンロードできなかったこともあって、宙ぶらりんになっていた。

自分のブログが本になるなんて、すごく素敵な誘惑です。

「今日ちょっと思ったこと」ブログも丸4年ほどになるので、1年ごとをダウンロードして、PDFを作ってもらった（PDF作成は何回でも無料）。

チェックし始めると、あちこちの字の間違いや意味不明なことが浮かび上がってくる。パソコン画面では追いつかないので、印刷機でプリントアウトして、校正をしなくてはいけなくなってきた。

これがまた、面倒で挫折しそうになっているのだが、4年前の文章を読み返すと、その当時のことが思い出されて、こんなことに感激していたのかとか、そんなことばかりしていたのかと・・・振り返っている。

そして、何よりも写真が、そのときの情景をありありと思い出させてくれる。

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-

結局は、こういう作業をただけで、製本までたどり着けるかどうかというところだが、あきらめずにやってみようと思う。

これが私のマレーシアでの心のアルバムになればいいし、そんな下手な文章も読んでくださった方には、お礼を申しあげねばなりません。ありがとうございました。

まだ気力の続く限りは、ブログも続けていきます。

どうぞ、つぶやきにお付き合いください。

2007・12・08（土）

get together（懇親会）

コンドミニアムのマネジメント主催のゲットツギャザーがあるからと、ポストに紙切れが入っていた。

私一人でどうしようかと思ったけど、どんな人が暮らしているのか見たいと思って出かける。

12時からなので食事が出た。そのあと、マネジメントに対する要望などの話し合い・・・

話というけど、要望を聞くと、いろんな問題が噴出してきますよね。そりゃいろいろとあるはずです。

茶色の水の問題、インターネットの費用の問題、プールのこと・・・・・・・・

こういうときに、英語が分からない寂しさを感じますね。
途中で電話があり、そのまま退散。何も言えないもの。

それでも、中国系の女性と日本人カップルと出会えてよかった。



冷蔵庫が空っぽなので、買い物へ。

たまに人ごみのときにも出かけた。暑いけど師走の雰囲気もちょっぴりあるかな??

そうだクリスマス商戦なんだ。学校も休みだし。

ということでイベント。子どもたちが出演しているような・

・親を捉まえるには子どもから。

2007・12・12（水）

モデルルーム



何度も題材になるが、何かと気になる売れ具合。

この作りかけのコンドミニアムは、A棟で、「MILAN」ミラノということらしい。ちなみにうちのはF棟で「TOKYO」、E棟は「シドニー」だったと思う。

前からのぞきたかったモデルルームへ行きました。

このA棟もわずかな個数を残すばかりで、販売価格から10000リンギットの値引きと、32インチのフィリップス社製の液晶テレビもつけるということらしい。もちろん各戸に2台ずつの駐車場はある。

モデルルームと同じインテリアは、購入価格+150000リンギでできるとマレー系お姉さんの説明。

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-

たいてい1000スクエアフィート前後の四角い部屋だ。パンフレットはもらえなかったが、400000リングくらいだと思う。最上階には、ペントハウスがあるが広いので高い。

どの部屋も同じようなつくり、完成している棟はいまだに住んでいる人が少ないのに、それと同じようなつくりにもかかわらず、売れるもんなんですね。

ペントハウスの購入者には、アラブや韓国、インドネシアとか白人とか・・・と説明のお姉さんは言っていた。

とりあえず買って置くという人もいるんでしょうね。お金の使い道に困っている方もいるんでしょうから。



このガラスエッジのプールは、修理中とは別の場所にあります。ショッピングロットの屋上につらえられているので、道路からも見えるし、誰でも入れる場所でもあり、販売戦略の一環かと・・・

単身者用のD棟は、450スクエアフィートで140000リングから、888スクエアフィートで300000リングから。

普通は白いタイルの床と白いコンクリート壁だけ。白い木製のドアも付いていますよ。単身者用の駐車場は1台のみ。

長い間待たされていたカードキーはようやく到着。新品に換えてもらったが、50リングを支払う。

カードキーなしでは、どのドアも開かないから、必需品。壊さないように丁寧に使いましょう。

2007・12・16（日）

ちょっとショック

ある人から、「経絡」（けいらく）のマッサージについて聞いたので、よく分かるようにと、本を探しにKLCCの紀伊国屋へ行くことにした。

老化すると経絡の通りが悪くなっていくので、次々に病気が出てくるということだった。

もちろん、病気の原因がそれだけではない、食べ物や、生活環境や、遺伝、嗜好などもあるのだろうが・・・

さて、イセタン2階のいつもの日本書籍を置いてある場所が分からない。何で？ どうして？ と、一瞬呆然。

尋ねてみたら、4階のほうへ移転したという。4階にも洋書の紀伊国屋があったなあ。1，2度行ったきりだ。

で、広すぎるので、尋ねてみたら、奥の新しいフロアにそれはあった。



11月に移ったのだそうだ。前に比べて明るくて、窓からは外の公園の噴水も見えて、リラックスできる感じだ。頭から

クーラーの風が来るのが、ちょっと寒い。決断が早くなるかな？

目的の場所が見つかり、本を選んでレジを済ます。しかし、ふたつ持ってたはずの荷物のひとつがない。

本を選んでいたところに違いない。だが、ない。

カウンターで訊くと、保管してあるという。

ふっ～よかった。買ったばかりのシャツが入っている。

その後、マーケットで買い物したら、お金だけ払って、袋をもらい忘れてる。若い男性が追いかけて届けてくれた。

目が点になった。お礼はちゃんと言えたと思う。

その後は、無事買い物も終了でき、家に帰れたが、これから一人で買い物できないかもと、ちょっとショックになってしまった。

「経絡」の本をしっかり読んで、ツボ刺激をして、流れをよくしないといけないようだ。

あった、あった。

「ボケを防ぐ・お年寄りの健康づくり」のページが。

2007・12・22（土）

おや？あの明かりはなんだ？

高層の住宅に住んでいると、街にネオンが増えたとか、コンドミニアムや商業ビルが建ちあがっていく様子などがよく分かる。

数日前に、異様に明るいネオンを発見。昨日まではなかったはずなのに・・・

近くなので、散歩がてら歩いて確かめにいく。

なんと！大型電気店が開店している。

普段行くショッピングセンターのそばだけれど、地上にいては建物に隠れて見えない。



開店セール期間中で、ピエロさんやら似顔絵描きがいたり、子どもに風船のプレゼント・・・



1階は、家庭電化製品、2階はパソコンなど、3階は家具やベッドなど。どうも白人系の指導で行われているようだ。ピエロなんかのアイデアは日本ではあまりないだろうなあ。

掃除機のゴミ袋がないか尋ねたが、ない。どこに行ってもない場合が多い。2、3年前に買ったのだから、ないというのはおかしい。

しかし、それは800円以上もする。掃除機の値段からすると高すぎると思うのだが、今その掃除機を使っている人はどうしてるのかなあ？取り替えてないのかしら？小物を在庫にしても損なのかしら？

とりあえず、あるときにしかないのが、こちら風。

日本の掃除機もゴミ袋を使わないような機種が出ているのでしょうか。でも日本の掃除機って高価ですよ。

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-

わたし的には、たかが掃除機なんだけどなあ。

電気店の開店から、掃除機の文句になったけど、同じような内容の店が増えても、補充をしっかりとるか、在庫の管理をしっかりとしないと、売れ筋だけがない店ばかりなのだ。売れたらおしまい。それでは、発展は望めない。

2007・12・23（日）

PDF ファイルの便利さ

オーストラリアに行ってしまった知人は、ご主人がオーストラリア人なので、英語表記のパソコンしかないという。

そんな彼女から、クリスマスメールが届いた。

赤ちゃんができたというときのメール以来だから、7ヶ月も経つ。

さて私はというと、年賀状はパソコンで作ったものを用紙に印刷してから、カードに貼り付けて送るようにしている。1枚ずつ書くと、たいした情報量がないので、挨拶やら写真やら住所やら近況やらを印刷した上に、少しコメントを書くようにしている。

クリスマスカードの返事はどうしようかと思った。日本語が表記できないのだったら・・・

年賀状のファイル（ワード）を、PDFに変換して、送ってみようと・・・

多分見る事ができたのでしょう。またお返事が来ました。ローマ字表記のメールはすごく読みづらい。

3人目の赤ちゃんを産んでから、全然おなかが引っ込まないってという悩みの返事でした。どんなダイエットが効くのでしょうかね。

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-

たぶん減食とか、運動とかはダメだと思う。

マッサージとかツボとか・・・

あるいは、ワインをやめたほうがいいのではと推測する。

私のオーストラリアの食事のイメージは、ステーキと赤ワインだから・・・

アルコール類は、本当に習慣性になりますね。特にステーキと赤ワインはいいですね。

違う話になっちゃったけど、習ったPDFの作り方が役に立った1場面でした。

2007・12・27（木）

日本からの年賀状

娘夫婦からの年賀状が届いた。写真入の年賀状。

今回は登場人物ももう一人増えて（二人目の孫）、少しにぎやかになってきた。母乳だけのようだが、まるまると太っている。

家族みんな元気そうで何より。

こちらからのカード型の年賀状もそろそろ着く頃かもしれない。日本で年末の忙しいときに、着く年賀状なんて、あまり歓迎されないかもしれない。

何度も転居すると、確実に年賀状が減る。

年末年始は、知り合いの数を確認する時期でもある。

マレーシアでゴルフなどで、よく遊んだ人でも、日本へ戻るともうそれきりになることも多い。接点がなくなってしまうからである。

もう、連絡が取れない彼女はどのようにしているのかなあ。

縁があれば、またどこかでお会いしましょう。

人との出会い、楽しくもあり、また別れの始まりでもある。

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-

クリスマスイブには

クリスマスイブといっても、暖かいところにいると、ぴんときない。

年齢的にも、宗教的にもあるのかもしれないが・・

マレーシアは、25日はキリスト教徒のクリスマスで祝日となっている。

コンドミニアムの部屋から外をのぞくと、車が数珠つなぎですごい混雑ぶりだ。

こんなに大勢の人が集まるのは、何かイベントがあるのか？ 零時になったら花火でも上がるのかと、夕食後偵察に？ 行くことにした。



夜の10時過ぎに、車ではなくて歩いて出かける。車は切れ目なく続いていて、歩くほうが速いほどの速度の渋滞ぶり。

何があるのか、何があるのかと歩いたが、何も起こらず、見

たこともないような人が単に集まっているだけ。それも若い人が殆ど。クリスマスイブに何かを期待するのは、どことも同じなのか。

映画の宣伝のためか、エイリアンがパフォーマンスをしているくらいで、開いてる飲食店は人がいっぱい。夜店が出店されているところが明るいくらい。

テータレ（紅茶ミルクの甘いの）は要らないし、おなかはいっぱいだし、ビール飲むようなところもない・・・仕方なく帰ることに。



コンドミニウムの下に、開店そうそうのアルコールを出すお店があった。ビートのあるリズムの音楽を大音量で流してい

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-

る。若い男女がおしゃれな感じで来ている。

のどが渴いたので、ビールを飲むことにした。若い人の雰囲気
を気兼ねなく味わえる。もちろん外のテーブルでだったけれど・・・

でも、つままない。若い人は雰囲気だけで楽しいのかもしれない。
多分ほとんどが中国系でしょう。飲み屋に乗りつける車が、
上等な車が多い。

年寄りはどこへ行ってもだんだんつまらなくなる。小さな
ボールを追いかけるゴルフくらいかな？最近楽しいのは。

2008・01・02（水）

あけましておめでとうございます

新しい年が、皆様にとってよい年になりますように！

例のごとく、週末、休日がインターネットが不通だったため、一日遅れのご挨拶です。

さて、元旦の迎え方、過ごし方というのをひとつ。

31日は紅白歌合戦を見ることができます。時差の都合か、元旦の朝にもテレビで、紅白歌合戦をしています。

マレーシアの場合は時差は日本と1時間なので、11時に除夜の鐘がなります。めでたいような、めでたくないような・ ・ ・

さて寝ようかと思うのに、こちらの午前零時になると、いっせいに花火が上がります。

今回は、新しいコンドミニアムからなので、なんと遠くも含めると、10箇所くらい花火が上がっている。

30メートルくらいのところにも、花火が上がって、ビックリしました。

その花火を見に来るのに、道中が車で埋め尽くされていました。

しかし、あちこちの花火を見るのに、あちこちで上がりすぎ

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-

て、どこを見たらいいのやらと思っているうちに、終了。
これはもったいなすぎます。



元旦は、ゴルフ場での元旦ゴルフに申し込みました。

お雑煮が出るということもあり、賞品もたくさんあるので、日本人はもちろん、中国系、マレー系、韓国人とたくさんのお客さんでした。

1ホールに、3フライトのところもあって、長時間のプレイとなりました。



ラッキードローで、ホテルによくあるお湯を沸かす器具が当たりました。

朝からのプレイで、表彰式も終わって、家に着いたらもう5時過ぎ。

6時から、元旦の食事に招待されている・・・ホッとイスに座ったら、30分も二人とも寝てしまった。あれ～。

慌てて、駆けつける。

ご主人は日本人、奥様は中国系。

おとそを頂き、お雑煮もご馳走になる。おせち料理もちゃんとある。

インド系の人、インドネシアの人、中国系の人が出て、いろんなお話を聞くことができました。

どんな言葉より、英語は最低でも勉強しないとイケないとい

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-

うことを、言っておられました。当たり前です。この国では、3つ4つの言葉は常識。

いかに深く言葉を使えるか、そして、意見を持っているか。

私の思う理想の日本人像は

*日本語の読み書きはきちんとできる（難しいから小さなうちから・考える言葉として）

*日本の行事を知り、実際に家でも行っていること

*自分の意見はきちんと持っているが、相手に押し付けない
礼儀正しさがある

*約束を守り、どんな相手であっても尊重する

*華美に走らず、質素でものを大切にする

*英語は基本で、いくつかの言葉を、駆使できる

*骨惜しみをしない

外見は、おのずとついてくるものです。

温室の中にいないで、

若者たちよ、世界に羽ばたきましょう！

2008・01・04（金）

マレーの結婚写真から

結婚したばかりの女性がアルバムを見せてくれた。立派なアルバムで、衣装も土日に渡って何度も着替えたということだ。

マレーシアに住むいろんな民族の衣装を着ていて、とてもきれいですね。

もちろんイスラムの儀式にのっとって行われたようですね。そのアルバムから少し写真を。



今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-





これは東マレーシアのほうの衣装でしょうか？

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-



いつまでも仲良くお幸せに



白い花嫁衣裳はきれいですね。

2008・01・09 (水)

リサイクル箱？



知人のコンドミニウムに行ったら、ガードハウスの前にこんなものが。

どうやらリサイクル用のボックスらしい。

衣類、新聞、缶、雑貨・・・

パソコンや大型のものは取りに来ますよ～みたいなことが書いてある。

確かに、着ないような衣類も増えていく。

古い衣類を箆筒に寝かせておくと、こちらでは虫の餌になってしまうように感じる。とりあえず、今着るものだけをワードローブに入れるようにして、空気が回るようにしておきたいものだ。

ず〜と夏なんだからね。来年着るかもなんていうのは、あまりない。

処分に困っている人には、いい箱ですね。

ごみにするにはもったいないし、知り合いにあげられるほどいいものではない。ひょっとしたら誰かの役に立つかもしれない。

そんな心をくすぐる箱でした。

ガーデン



ミッドバレー、メガモールのそばに「ガーデン」という新しいショッピングセンターができています。イセタンも入っていますが、食品類はなし。

新しいので例のごとく、まだ全面開店とは行かない。メガモールに比べて、少し上の層をターゲットにしているらしい。

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-

メガモールとブリッジでつながれているが、雰囲気は全然違う。

ガーデンという名前のように、植物をあちこちに置いているが、育つのだろうか？そういうところも今後の見所かも。

メガモールに列車の駅ができてから、客層が若くなったかな。それに、人ごみもすごくなった。

ガーデンも最初のうちだけかもしれないが、人通りは少ない。

だんだん都会化していくので、値段も上がり、徐々に近づきがたくなってくる。

(まあ贅沢品は買う必要はないのだが・・・)

2008・01・11（金）

ビル建築中・続き



ふたつの工事現場を比べても、専門家じゃないので、よく分からないが、手際のおよさとか、工事の仕方のきれいさとか言うような感じが違うように思う。

現場の大きさによるのかもしれないが、何ヶ月も鉄筋を雨ざらしにしておいて、いいのだろうかとか思うことがある。

労働者の仮設住宅もトタン屋根の張り合わせ・・

普通にはそんなことは知らないで、建設されたものを購入したり、借りたりするわけだから。

目の前で工事が進むのを見ると、どのように建っていくのかとか、いかに大勢の人がかかわっているのかとかを感じる事ができる。

皆さんに事故がありませんように。

一人暮らしの食事



シンガポールでの出来事。大きな屋台村のようなところ。

朝ごはんも安く済ませたい。さっぱりとヌードルをと思って探していると、行列の店がある。一軒おいて隣も同じようなヌードルの店。

時間がないので、行列でないほうの店にした。フィッシュボール（かまぼこの丸いの）もたくさん入っているし、麺の種類も選べるし、2.5シンガポールドル（200円弱）。どこが違うのだろうか？次の機会に試してみたい。



行列の隣のお店の甘味やさんで注文。遠目であんこかと思ったけど、ブルーベリーのような感じかな。これで、2シンガポールドル。

相席でもいいかと言われたので、もちろんOK。一人で来ている老人。

何かしゃべりたそうなので、何回くらい外食するかと聞いてみた。

3～4回だそうだ。じゃあ、ここが自分ちの台所というわけだ。

一人暮らしで、全部外で食べるのだそうだ。

ついでに、一日いくらかかかると聞いてみた。5～10シンガポールドルだそうだ。

朝ごはんは、ヌードルと氷を注文したから、もう4～5ドル使ったじゃないか。

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-

昼と夜はどうする??

高齢者の生活はどことも厳しいなあ。

それにしても好き嫌いもあるだろうから、食生活偏るなあ。
ヌードルばかりだと野菜が不足しそうだ。

よく見渡してみると、そんな老人がすごく多い。ここで食べなくても、家に持って帰るように包んでもらっているおばあさんもいる。

家庭の味というのは、ないのだろうなあ。

自分の先のこと考えたくない気分になってきた……

赤いナンバープレート



車の赤いナンバープレートって、大使館の車じゃないの？
シンガポールでは違うんですね。

車の数を規制するためにいろいろな方策が採られている

らしい。

そのひとつに

オフピークカー制度

1991年から実施されたウイークエンドカー制度を引き継ぐ形で導入された制度である。

この制度では、申請した持ち主の車には、他の車と区別するため赤いナンバープレートがつけられ、走行できる時間帯が平日の午後7時から翌朝午前7時まで、土曜日の午後3時以降および日曜祝日に制限される代わりに、前述の追加登録税、輸入関税、車両購入権および道路税が軽減されるというものである。

(財)自治体国際化協会ホームページより

車両購入権（車を買うための権利）、高い車両代金（約5倍）、道路通行料の徴収など、車の運転など庶民には夢のまた夢みたいな感じだ。小さな島で暮らす国ならではの規制なのだろう。

マレーシアでは、一家に数台の車を持ち、どこへ行くにも車

・・・

どこに止めても平気・・・なんというかなあ。

2008・01・15 (火)

非常ベル

最近、インターネットの調子がいいと思っていたら、今度は「非常ベル」。

ここに越して来て、私は3回目。

今回は、夕食後。一度鳴ったけど、すぐに止まったので、家にいた。2度目も。3度目にはさすがに、怖いから手回り品を持って、エレベーターが動かないので、前のときのよう、11階プラス6階分を歩いて降りた。(ぐるぐる階段を下りるのも、目が回ってくるんですよ。)

ずっと鳴り続けているので、とりあえず外にいることにする。

コーヒーショップで座ろうかと思うけど、のども渴いてないし、おなかもいっぱい。仕方なく、立って待っていた。

よその人は、車でどこかへ出かけたり・・・

うちの主人はゴルフ練習場。電話しても「それで？」という感じ。

ええっ？

まあいいか。もうエレベーターも動くようになったし・・・
火事でもなかったらしい。

シンドラエのエレベーターのせい？(濡れ衣か)

2008・01・17（木）

中国正月向け出店



何の店か分かりません。中国正月に向けての出店です。

私の勝手な想像ですが、高級なお茶を扱っているのではないかと思います。どなたかご存知ですか？

昨日の夜は、銀行に用事があるので、散歩がてらにショッピングセンターへ。

今日は新年会の会食のため、新しくできたホテルへ、そして、続きのショッピングセンターへ。

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-

毎日毎日いろいろな・・・と思うけど。

結局そこが涼しいから、広々しているから、居心地がいいようにしてあるから、便利だから・・・

それはもちろん私だけでなく、誰もが感じることなのでしょう。

いろんな行事に対してのセールやイベントが次々と行われ、人々が寄り集まってくる。

イベントに応じた出店も出る。今回は2月6日7日の中国正月の飾りつけ。

しかし、5年も過ぎると、感性も鈍ってきたのか、あまり珍しくもなくなってきました。赤いちょうちんもわくわくしなくなっています。

クリスマスも、お正月も、イスラム断食明けも、インドの光の祭りも、中国正月も・・・私の中では、単にセールとしての名目だけで、だらだらと日々が流れていくようになってしまっています。

新しく感じるワクワク感を、見つけないと・・・

常に新しいものを見出すって、難しいですね。

でも案外、足元にあるのかも。

ほらっ。

2008・01・18 (金)

グランドオープン



足元で太鼓の音が聞こえてきた。そういえば、今日がグランドオープンの日だったっけ? 「アフター5」という店だったと思う。お酒とか出すのだけれど、もうすでに営業はしている。一度行ったが面白くなかったと書いたと思う。

窓をのぞけば、上から見えるのだから写真を撮ってみる。

青と白の塊は、風船。お祝いにと大空に放たれた。

アップで見ると、赤、黒、白と肌色みたいなのが2つ、合計5つも獅子がいる。ずいぶん豪華だなあと思う。

太鼓の音も、ドンドコドンドコとずっとなっている。

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-



だんだん夜になってきているけれど、獅子舞はまだまだドン
ドコンドコとしている。マイクでしゃべる男性の声もだいぶ

大きいよ。



突然、花火が打ちあがった。

ほんとうに目の前で、花火が・・・

きれいけど、写したいしデジカメを花火モードにする暇がない。

見たいし、写真を撮りたいし・・・

いつもの道路を走る車もきれいだ。

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-



とうとう、最後になってしまったが、本当にきれいだ。
家にいるだけで、素晴らしいショーを見ることができた。
足元からちょっぴり、わくわくな金曜日の夜でした。

2008・01・22（火）

Bonanza

bonanzaって何？

割引券のようなものかな？

イセタンから会員宛に送られてきた。

300RMの値打ちのものが、100RMで買えるとか、500RM以上買ったら、100RM割引しますとか・・・
まあそういうもんだけど、高級化粧品は要らないし、高級な洋服も要らないし、カバンも要らないし・・・ということで、15枚綴りの素敵な印刷物は、私には必要がないと分かった。



それでも何かしら頂いたら、見てみたくなるのが消費者心理。その辺をよく読んでおられる。

そのイセタンの誘惑に誘われて、KLCCへ出向く。やはり中国正月飾り。イセタンの売り場も賑やかだ。

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-

そんな合間に隠れるように、明日は「タイプーサム」で祝日。インド本国では危険なのでもうやっていないお祭り。バツケーブで行われる例の鉤針を身体につけるお祭りですよ。

ヒンディー以外は、単なるお休み。

やはりゴルフしかないですね？することって。

2008・01・23（水）

海外安全情報

在留邦人の皆様へ

平成20年1月18日

在マレーシア日本国大使館 領事部

1. 野党およびNGOによって構成される反インフレ連合（PROTES）は、物価値上がりに対する政府の対策を要求する数千人のデモを1月26日（日）午後3時より、KLCCにて行くと予告しています。

本件デモが実施された場合は、道路での検問、道路封鎖、放水車・催涙ガスの使用等の可能性もあります。

2. 本件デモに関連した安全対策として、最新の関連情報の収集に努めると共に、デモの発生に関連した不測の事態に巻き込まれないよう十分に注意を払ってください。

時々大使館よりメールで情報がいただける。

テレビで見るよその国の海岸海外安全情報は、何も関係ないように思うけれど、住んでいる国では、やはり注意しなくてはいけない。

26日は、KLCCへぼんやりショッピングなどには出かけてはいけないね。注意しましょう。

いやあ、でも何でも高くなってる感じがしますよ。

2008・01・24 (木)

沼地



ゴルフのとき、鳥が水浴びしているのがきれいだったので撮ろうとしたが遅かった。羽を広げるとブルーなんですよ。でも止まっていると茶色い鳥ですね。

沼地のような池もボールが入ると憎たらしいけど、動物たちの生活の場なんですよ。

いつもお邪魔してま〜す。

2008・01・27（日）

スクラップブックキング

娘が孫の写真や自分たちの写真を、スクラップブックキングにして楽しんでいるようだ。

スクラップブックキングとは？

スクラップブックキングとは、アメリカで大流行のペーパークラフトのことで、思い出の写真を色紙やシールなどで装飾する新しいタイプのアート・ホビーです。現像後ポケットアルバムや箱にしまってある写真も、あなたのセンスを活かして思い出をより鮮明にすることができます。

そんな大切な思い出をスクラップブックキングという新しいタイプのアート・ホビーでより素敵なものにしたい・・・そんな思いを寄せた人たちがスクラップブックキング愛好者です。スクラップブックキングは子供からお年寄りまで年齢層を問わず多くの人たちに愛されています。（スクラップ・パラダイスホームページより）

作った作品は、ウェブ上に置いてくれているので、いつでもインターネットを通して見ることができる。もちろん、孫もかわい。

しかし、私にはそのアートを理解する能力がないのか、写真をアルバムするという本来の意味からでは、載せる写真が少ないと試してみたりする。

それより写真自体をはっきりと見たいというのが本当のところだ。写真に意図せず写っているものから時代を感じたり、季

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-

節を感じたりのほうに興味があるからだ。

スクラップブックには、たぶん見るというより、作ることに楽しみがあるのでしょうか。一種のパッチワークみたいなものかな？作っている間が没頭できて楽しいのかもしれない。

愛情表現か、自分の生きた証か、何十年も経ったときに、本当の価値が分かるのかもしれない。

タクシーの事故

先日、出かけるために、いつものようにコンドミニウムの前をタクシーを捜しながら歩いていた。

タクシーが来たら、腕を水平に伸ばして、合図をする。

いつものように合図をし、いつものようにタクシーが止まった。

さて、荷物を持ち上げて乗ろうと車道に下りかけたら、乗用車が後から追突。

何が起こったのかと一瞬思うが、気持ちは結構落ち着いている。事故の現場でドキドキしないなあと思っている自分がいた。

右にハンドルを切ったらしいので、助手席の前のライトにタクシーのバンパーの角がめり込んで外れてしまった。

タクシーは少し前に行って、降りてきたのは、イスラムの服

を着た男性の運転手。メモを用意して落ち着いている様子。

バンパーがめり込んだまま、後方車のライト部分で宙に浮いている。

後の乗用車は、助手席の女性がシートベルトをしてなかったらしく、ぶつけている様子だ。ちゃんと起き上がっているが、鞭打ちになるかもしれないなあ。ようようしてからインド系っぽい中年の男性が降りてきた。

「家に帰ろうと思っているのに、そんなところに止まるからいけないんだ！」という風に怒っているが、絶対後の人が悪い。前方不注意に違いない。

そこを、ポリスの車が横を通り過ぎるが、止まる気配はない。

見た目に血を流しているような人もいないから、話し合いで解決がつくのもかもしれないのだろうか。連絡しなければ来ないのだな。

他のタクシーが通りがかった。

私を見て、乗るか？と目で合図する。

放っておいていいのかなと思いながら、乗る。言葉も分からないから説明もできないし・・・

でも一度、そのタクシーの運転手は降りて様子を見てきたみ

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-

たいだが、まあいいだろうという感じで戻ってきた。

そしたら、小さな男の子（2～3歳）が助手席に乗っている。

シートベルトをしないと危ないよと言ったが、「大丈夫だよ」という運転手の返事。安全教育が行き渡ってないね。

それぞれが車を持つマレーシアにもかかわらず・・・怖い。

そして、今朝もタクシーがカーブを曲がり損ねたのか、自損事故をしていた。

事故はあまり見たくない。

ちょっとの違いで、事故を免れたが、その意味するところはなんだろう？

2008・01・30（水）

ロープウェイ

シンガポールのセントーサ島へ行くと、ロープウェイもある。少しだけ時間があり、前から気になっていたのでも、乗ってみることにした。あちこちで降りると時間がかかるので、今回はぐるっと往復、乗ってみるだけにした。

遊園地のロープウェイ以来だから、すっかり子ども気分。海に飛び出るときには思わず、「わあ〜」という声のでる。



シンガポールは小さな島だから、海岸は有効利用しないといけない。ハーバーフロントには、たくさんのコンテナ置き場の小島やショッピングセンター、船の乗り場などがある。この汽船でどこまでいけるのかなあと、遠い国を思いやってみる。なんかワクワクしますね。

もちろんマレーシア行きバス乗り場もあります。

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-



土地を確保すべく、海拔より低く見えるような場所も工事中だったりします。黄色のかわいいモノレールも走ってますね。



いろんな建物が本当にぎっしり。日本みたいですね。



余談；シンガポール人のオーナーであるマレーシアのコンドミニアムの家賃が値上げされたとか。シンガポールの物価が上がったのが原因らしいのですが。

2008・02・01 (金)

2月1日はクアラルンプールは何のホリデイ

いよいよ中国正月がやってくる。あちこちが赤く染まっている。

なぜか、クアラルンプール市内はホリデイらしい。市内と郊外の境目あたりに住んでいるので、ややこしい。カレンダーにも載ってないし、情報を得るのがなかなか難しい。主人は出勤。

先日も、今年からとかで、急にKLが休みになったことがあった。

休みが増えるのは、楽でいいかもしれないし、消費が増えて経済が活発とかになるとかだろうけど、本当のところ、それはいいことなんだろうか？ちょっと分からない。

若い頃は、日曜日しか休みじゃなかったし、それはそれで、土曜日の午後がとてもうれしかった。

土日の休みが定着すると、遊びすぎてもう一日休みが欲しくなる。

子どもや若い時、土日の休みが当たり前になったら、金曜日も半ドンにとかいうことになって・・・

人って楽になるほど、耐性がなくなるような気がする。

まあ遊んでばかりの私が言うことでもありませんが。

で、ショッピングセンターはやはりいっぱい。正月前の買出しやら・・・



日本へのお土産にでもなるかと思って買ってみました。中国正月の雰囲気があるから、いいかもと思うものでも、日本じゃどうかしらね。できるだけ、地味で小ぶりのものを。

2008・02・02（土）

マンゴいろいろ

今はチャイニーズニューイヤー前だから、みかんの箱が山積みされている時期です。直径2～3センチの甘いみかんもあり。前より全般にみかんがおいしくなったように思う。

今回はマンゴ。八百屋さんの店先にあったマンゴ。



値札についていた名前は

左から

チョコナン・マンゴ

ブラックゴールド・マンゴ

リアルキング・マンゴ

エレファント・マンゴ



中身の色が少しずつ違いますね。外側が緑色でも、熟している種類もあります。

ですから、単に外が熟れていると見えても、もう時期が過ぎていて、おいしくなくなっているのがあったり、なかなか食べごろを探すのは難しいです。

やはり、お店の人の仕入れる目がいいと当りが多いです。

安いスーパーなどの果物は食べられたものではありません。よくあんなものを売って・・・と思いますね。

2008・02・04（月）

魚生（イーサン？）



中国正月のお話ばかりですが、シーフードレストランは超満員。お祝いムードが盛り上がっているのでしょうか。

お正月のお祝いの料理の一つに、「魚生」があります。

やはり、あちこちで注文しているようで、いろんな魚の刺身（これは鮭ですが）をタレをかけて、混ぜて食べます。



テーブル中が立ち上がって、お箸でわいわいと混ぜ合わせます。お正月だなあと言う気持ちになるんでしょうね。

材料の内容は、地方によっていろいろでしょうが、マレーシアの場合、店頭で見る限り、乾燥したものが多いですね。色もド派手で、着色料が怖いような感じがします。その上に、タレがめちゃ甘いので、全部かけないように頼まないといけないような・・・

ともかく、もうすぐですね。おめでとうございます。

G o n g X i F a C a i

2008・02・21（木）

最近の結婚式

しばらくお休みしました。息子の結婚式で、極寒の日本に帰っていました。何でこんなときに結婚式かって思うですよ。こちらの都合だったんです。

元旦の休みが一日だけですが、中国正月は、こちらで長い休みになります。それを利用して結婚式の日程を決めてもらいました。せっかく日本へ戻るのですから、少し長めに滞在したいですしね。

関係者にはほんとに迷惑ですよ。すみませんでした。



うちの親戚は関西、結婚式は横浜。新幹線で式場に入り、その日は1泊する。全く、私たちの親たちを連れての移動にはどきどきしました。行きは指定でしたが、帰りは結構混んでいたもので。それに歩けるかなあとか、寒くないかなあとか・・・

横浜といえば、中華街。

さすが中国正月ですね、賑わってましたよ。神戸の中華街より大きいらしいですね。用事でもない限り、横浜までなかなか行くことはないです。親族から、寒い中でもいろいろなところを、それぞれの目的にあわせたことができたと聞いて喜んでいます。



それにしても結婚式というのは、神様に対して誓うものだと思いますが、人前式とかで、ちょっと戸惑いました。宗教に対する考え方は、日本では割合おおらかですよ。二人が考えた結婚パーティーに招かれたといったところでしょうか。楽しい家庭を築いてください。

パビリオンに行く



新しいショッピングセンターです。モノレールの駅ブキット・ピンタンにも近い。周りの歩道もバリアフリー的で、すごく素敵。きれいな舗装された道もマレーシアの雨と温度にどこまで耐えられるかな？

正面玄関からは舞台がしつらえてあるのが一目で分かる。イベントにうってつけ。向こう側にパークソン（百貨店）が見える。

しかし、正面から入ったつもりが、実はレベル3だという。

レベル1は、地下といわないらしく、フードコートがあった。広いフードコートは新しいのでいい、いっぱい人が入っている。しかも、お店が結構個性的。今までのように、ローカルフードとかウエスタンというのじゃなくて、ちょっと知らない

名前のお店も出店している。

あれもこれもと言いながら、なぜかまわる寿司のお店に入ってしまった。

友人と二人連れだったので入ったのだ。一人で回転寿司で食べるのは恥ずかしい気分がするので、マレーシアで初めての体験なのだ。

2リング、4リング、6リングのお皿がある。回転すしにカウンターがあるとは・・・お寿司の作り方がよく見える場所だ。ご飯って自動で形になって出てくるんですね。当たり前のことなんだろうけど、目の前で見て結構感激したんです。



大きな店で、長いなが〜い道りを回転しているのだけど、カウンターはすぐそばで作りたてが見えるのでいい。それに作業している子達も若くて見ているだけでいいですね。これからも頑張ってね。



ウエスティンホテル向かいのパン屋さんは、マハティールさんの共同出資のパン屋さんだとか。

おいしそうで少し高め、でも主人の好きなメロンパンを試しに買ってみる。

う〜ん。レジ係がいまいち。心の中で、こりゃちょっと問題ありだなと思う。においもいいし、高そうな焼き菓子も売っていたり・・・

翌日の朝に食べた限りでは、多分もう買いに行かないかなという感じ？パンは焼きたてででないとかダメかな。

今日ちょっと感じたこと-マレーシアから-

<http://selangor.exblog.jp/>

著 者：2007- by Selangor

印刷・製本：欧文印刷株式会社

<http://www.obun.jp/>



200803220037-008-000000

背表紙は左のようになります。

半角英数字を使用している場合は半角英数字だけ90度回転した状態になります。
なお製本サービスをご利用の場合、総ページ数が一定のページ数（120～140ページ前後）に達しない場合は背表紙に文字は入りません。ご承知おきください。



今日ちょっと感じたこと - マレーシアから -

2007 - by Selangor

英数字が90度回転しないようにするには....

お申し込み画面の「書籍のタイトル」と「著者名」を入力するときに全角文字で入力してください。

<英数字を半角で入力した場合>

子育て日記 VOL. 2

▼
子育て日記 VOL. 2

<英数字を全角で入力した場合>

子育て日記 VOL. 2

▼
子育て日記 VOL. 2